学 生 手 帳

2021

神田外語学院

目　次

学生のみなさんへ……1
校歌……2
１．学生生活について
学生心得……3
授業について……4
出欠席及び遅刻について……5
学生支援カウンセリング制度……9
奨学金制度……10
２．教務に関して
年間スケジュール／教務関係諸制度……13
年間スケジュール／教務関係諸制度（留学科）……43
年間スケジュール／教務関係諸制度（英語基礎養成科）……56
３．本館１階窓口　事務案内
受付時間／各種届出／各種証明書……60
４．その他規則……62
５．図書利用に関する手引……63
６．就職相談……64
７．進学相談……66
８．留学相談……68
校舎、教室見取図……69
各種検定・資格試験について……72
９．クラブ・同好会に関する規定……78
学則（抜粋）……85

学生のみなさんへ

神田外語学院がめざすもの

私たちの建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎（いしずえ）」。

世界中の人々と、言葉を通じたコミュニケーションによって理解を深め、世界の架け橋となる人材を育てたい。

神田外語学院には、進展するグローバル社会において必須である、

語学力や専門スキルを習得できる環境があります。

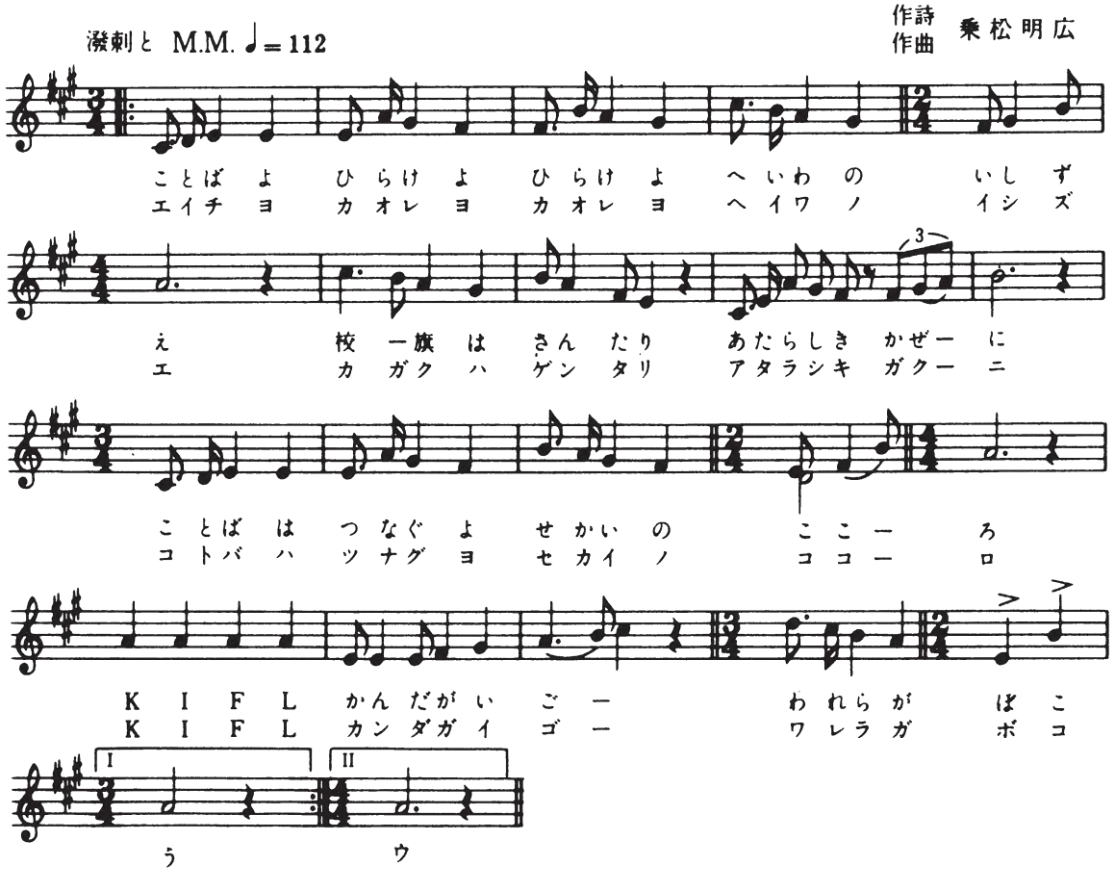
また、それらを学習する過程で、語学の自主・継続学習から「主体性」「持続性」「集中力」、外国人教員とのコミュニケーションから「勇気」「積極性」「異文化理解」、仲間とのディベートやグループ学習を通して「発信力」「傾聴力」「協調性」など、いわば社会に出てから一番重要な「人間力」を養うことができるカリキュラムになっているのです。

みなさん、強い意欲をもって貪欲に学んでください。そうすれば、

必ず道は開けます。

学院長　糟谷　幸徳

神田外語学院校歌



一、言葉(ことば)よ　拓(ひら)けよ
拓けよ　平和の礎(いしずえ)
校旗は燦(さん)たり　新しき風(かぜ)に
言葉はつなぐよ　世界のこころ
ＫＩＦＬ(ケーアイエフエル)　神田外語
われらが母校

二、叡智(えいち)よ　かおれよ
かおれよ　平和の礎
科学は厳(げん)たり　新しき学に
言葉はつなぐよ　世界のこころ
ＫＩＦＬ　神田外語
われらが母校

1.学生生活について

〔1〕学生心得

1．本学院生としての誇りを持ち、礼儀を守り、節度ある行動をとりましょう。
　① 周囲の学生、先生方と親交を深め、良き友達をつくり、意義ある楽しい学生生活を送りましょう。
　② 登下校のとき、先生や友達に挨拶をし、学院内で来訪者に会ったときは軽く会釈しましょう。日頃の行き届いた作法や言葉遣いが積み重ねとなって、今後の私生活や就職試験等で役立ちます。
　③ 華美な服装は避け、清潔感のある学生らしい落ち着いたものを着用しましょう。
　④ 机や椅子は大切に扱いましょう。壁や器物の破損や落書きは厳しく処分されます。
　⑤ 昼休み以外、教室に飲食物を持ち込むことは厳禁です。教室内で食事をした後は、必ずゴミを不燃物と可燃物に分別しゴミ箱に捨てましょう。
　⑥ 常に学内の美化に心がけましょう。
　⑦ 車、バイク、自転車等による通学は禁止です。
　⑧ 教科書等は、教室内に置かずに持ち帰りましょう。
2．学生証は常に携帯して下さい。本館１階窓口及び全ての試験では、学生証の提示を求められることがあります。
3．学院から学生への連絡は、通常、本館２階の掲示板と KIFL Info-web で行います。毎日必ず本館 2 階掲示板と KIFL Info-web を確認して下さい。見落とすと多大な不都合、不利益が生じますので、注意して下さい。
4．学院内の掲示、諸印刷物の配布、集会、団体の結成等は、学院の許可が必要です。
5．学院行事であるブリティッシュヒルズ研修は学院での授業の一環であり、全員参加です。学園祭、プレゼンテーションコンテスト等の学院行事にも積極的に参加して下さい。
6．学院が開放している自習室等では、私語を慎む、飲食、喫煙をしない、席取りをしないなどのルールを守り、快適に使用しましょう。
7．未成年者の喫煙・飲酒は法律で禁じられており、発覚した場合は厳しい処分の対象となります。（学内及び学外）又、酒類の学内持ち込みは厳禁であり、学院内（各建物の入口、階段及び入口前の道路を含む）では特定の場所以外は禁煙です。喫煙は、本人自身の健康に悪影響を及ぼすだけでなく、周囲に多大な迷惑となります。喫煙は、本館６階テラスと３号館の屋上のみを利用し、吸い殻を絶対投げ捨てないこと。ルール違反が認められた場合は、厳しい処分の対象となります。
8．拾得物は本館１階にある忘れ物置場に保管してあります。但し、貴重品については、別途管理をしていますので、心あたりのある学生は学生支援部（学生支援チーム）を訪ねて下さい。又、引き取り手のない拾得物は各学期末に定期的に廃棄処分します。
9．緊急以外の電話の取り次ぎは行いません。又、講師、学生の連絡先や住所等の問い合わ

せには応じられません。

10. 学院内では語学上達のため、日本語を使わないように常に心がけて下さい。
11. 語学上達のためにも、友達をつくるうえでも積極的にクラブ活動、学院行事・イベントに参加して下さい。
12. 事故・緊急事態等が生じた時は、すみやかに学院に連絡して下さい。

〔2〕授業について

1．授業クラスについては、入学時は入学前に実施されるクラス編成テストの結果により編成されます。入学後は、毎学期の TOEIC・成績評価・出欠席状況・授業態度・教員評価等の総合評価によりクラス分け及びクラス変更が実施されます。又、成績評価・出欠席状況・授業態度・レベル等に問題がある場合には、クラスが変更になる場合があります。

2．授業は所定の教室において、月曜日から金曜日までの、9 時 20 分から 17 時 00 分の間に行います。1 授業時間の単位は 45 分間です。

午前	1　限　目		2　限　目	
	9：20～10：05	10：10～10：55	11：05～11：50	11：55～12：40

午後	3　限　目		4　限　目	
	13：40～14：25	14：30～15：15	15：25～16：10	16：15～17：00

3．定められた以外の講義を受講することはできません。

4．始業時刻前に教室に入り、講師の入室を待つようにして下さい。

5．私語や居眠り、又は教員の授業進行に不適切と思われる行動をとった学生は、退室を求められ、出席を取り消されることがあります。

6．休日は、土・日曜、祝日及び学院の指定する日としますが、授業回数によって登校日になる場合があります。但し、天災・台風・降雪による交通機関の麻痺、交通機関のストライキ等不可抗力の事由により、臨時休講とすることがあります。この場合、振替授業は行いません。

7．携帯電話等の電源は、必ず切って下さい。呼び出し音が鳴ると、授業進行上、大きな支障をきたします。又、教員の許可無く、iPad 等の電子機器を授業以外の目的で使用することを禁じます。

8．**台風、あるいは大雪の場合は、下記のように取り扱います。**

① 午前 6 時の NHK テレビ、気象庁 HP において東京都 23 区内に「暴風警報」、「大雨警報」あるいは、「大雪警報」が出ている場合には、午前中の授業は全て休講になります。

② 午前 10 時 30 分までに解除された場合は、第 3 時限目（午後 1 時 40 分～）より授業を行います。

③ 午前 10 時 30 分現在も引き続き東京都 23 区内の「暴風警報」、「大雨警報」あるいは、「大雪警報」が発令されている場合は、その日の授業は行いません。

④ 原則的には①～③のとおり取り扱いますが、交通機関があらかじめ計画運休を発表した場合や、各種警報が解除されていても交通機関の運行が著しく混乱している場合などは、状況を鑑みた判断のうえ KIFL Info-web にて、休講となる旨を掲示する場合があります。上記のような状況においては随時、KIFL Info-web を確認するようにして下さい。

台風、あるいは大雪の影響による遅刻又は欠席について

規定①・②により授業が行なわれる場合でも、台風、あるいは大雪の影響（交通機関ダイヤ混乱、通学ルートの変更等）により、遅刻又は欠席した場合は、学生支援部（学生支援チーム）に申し出て下さい。理由が正当と認められた場合は、公欠となります。

9．地震等の天災で交通機関が運転中止、あるいは、徐行運転で授業に出席できない、又は遅刻する場合は、必ず本館 1 階エレベーター前に置いてある交通機関遅延専用公欠申請書に必要事項を記入し、各鉄道会社のホームページでの遅延証明書を（駅で配布しているものは無効）各自プリントアウトをして 1 週間以内に本館 1 階窓口に提出して下さい。但し、交通機関の遅延を理由とする公欠については、たとえ遅延証明書が提出されたとしても、自宅以外からや定期券記載以外の路線や経路を利用した場合や申請内容に間違いや不備等があった場合には認められません。

〔3〕出欠席及び遅刻について

1．全ての授業に出席することが、授業効果のうえで最も重要です。やむを得ぬ場合を除き、全ての授業に出席して下さい。出席率は成績評価のうえでも重要な部分を占めています。授業への出席率が 75%に充たない履修科目がある場合、担当講師による成績評価にかかわらず、その科目の単位修得資格を失いますので、自分の遅刻・欠席回数をしっかりと把握しておいて下さい。

注意：再履修科目の単位修得にかかわる出欠要件については、通常学期とは異なりますので注意して下さい。

2．出席は、授業ごとにその授業の担当講師が点呼をとります。名前を呼ばれたら大きな声ではっきりと返事をして下さい。声が小さいと出席を確認できず、欠席扱いとなることがあります。又、点呼を取った時に教室内にいなかった場合には欠席扱いとなります。

3．授業開始後 15 分未満は遅刻、15 分以降は欠席となります。学期中 3 回の遅刻があると 1 回の欠席となります。又、授業間の休憩時間終了後も教室内にいない場合には、「遅刻」又は「欠席」になります。

但し、遅刻入室は授業進行に重大な支障をもたらすので、15 分未満であっても担当教員が入室を拒否し、欠席とすることがあります。早退についても、各授業の終了時間の 15 分前より早く退室した場合には、欠席扱いとなります。

交通機関の遅延について

交通機関等で 30 分以上の遅延があった場合は公欠の申請をすることができます。遅延申請書を提出する際には、必ず本館 1 階エレベーター前に置いてある遅延申請書を記入し、各鉄道会社のホームページ掲載の遅延証明書を（駅で配布しているものは無効）各自プリントアウトをして 1 週間以内に本館 1 階窓口に提出して下さい。但し、交通機関の遅延を理由とする公欠については、たとえ遅延証明書が提出されたとしても、自宅以外からや定期券記載以外の路線や経路を利用した場合や申請内容に間違いや不備等があった場合には認められません。

4．無届欠席が 15 日以上続くと、除籍されることがあります。（15 日以上欠席が続く場合は、必ず学生支援部（学生支援チーム）に連絡して下さい。）

5．欠席時間数が授業時間数の 10%を越えた場合、保護者に連絡し、警告することがあります。又、2 年生の場合、卒業に必要な科目の単位が通算で 7 単位以上不合格となった場合や、出席率が悪く、卒業単位修得不可とみなされる場合は卒業見込証明書（就職活動・大学編入時に必要）の発行は停止されます。

6．公　欠

下記（①～⑩）の場合は公欠として取扱い、出席とみなします。公欠に該当する場合は公欠の発生した日の翌日、又は発生した最終日の翌日を第 1 日として 7 日以内に公欠届を提出して下さい。（例：公欠が月曜の場合は、翌週の月曜まで）7 日を越えた場合、公欠は認められません。又、再履修科目については、異なる規定が適用されます。※7 日には土・日・祝日を含みます。7 日目が休日の場合はその翌日までが認められます。

① 3 親等以内の親族が亡くなった場合。葬儀の日を含む下記授業日数分を公欠として認めます。会葬礼状の原本又はそれに準ずるものを必ず添付して下さい。
- 1 親等（両親）…5 日
- 2 親等（兄弟、祖父母）…3 日
- 3 親等（伯・叔父、伯・叔母）…1 日

② 学院行事（プレゼンテーションコンテスト、学園祭等）で委員等になり、会合、準備のため欠席した場合、且つ欠席届に学院の担当責任者の認印を押して提出した場合。

③ キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）の事前許可を受けて、就職試験、又は会社説明会等に出席した場合（学院指定の出席証明書が必要です。用紙

は神田外語本部ビル2階キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）内にあります)。但し、1科目ごとに「欠席+公欠」で1学期間（EICについてはⅠ～Ⅳそれぞれ）の授業回数の50%までが単位取得上限となります。(欠席数は授業回数の25%以下であること）

④ 原則として、2 年生もしくは 1 年制課程学生が、大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）の事前許可を受けて、一般大学編入学試験・一般入学試験を受験した場合。又、合格後の編入学事前研修に出席した場合。(許可を受けるには、学院指定の出席証明書を事前に提出する必要があります。用紙は神田外語本部ビル5階大学編入センター／学生支援部(編入学支援チーム)内にあります。)但し、1科目ごとに「欠席+公欠」で1学期間（EICについてはⅠ～Ⅳそれぞれ）の授業回数の 50%までが単位取得上限となります。(欠席数は授業回数の 25%以下であること）P66〔4〕公欠と合格報告①も参照のこと。

⑤ アドミッション＆コミュニケーション部の事前許可を受けて、進路説明会に出席した場合（学院指定の出席証明書が必要です)。

⑥ 学院が実施する留学プログラム・インターンシップ等に参加した場合。

⑦ 学院の事前許可を受けてインターンシップ等に参加した場合。

⑧ 学院の認める公式行事・大会等へ参加をした場合。

⑨ 学校保健法による学校伝染病　※ 要診断書または登校許可書を提出した場合。

⑩ 交通機関等で 1 路線につき 30 分以上の遅延があり、遅延申請が認められた場合。

◆公欠の認められる学校伝染病の種類◆

※以下の伝染病に該当する学生は医師の診断書または登校許可証（KIFL Info-web よりダウンロード可）を学生支援部（学生支援チーム）に提出し、医務室にも報告すること。
医師の診断書でも構わないが、登校禁止期間を明記してもらうこと。

第一種	出席停止の基準
エボラ出血熱･クリミア　コンゴ出血熱･痘瘡･ペスト･マールブルグ病・ラッサ熱　急性灰白髄炎（ポリオ）･ジフテリア・重症急性呼吸器症候群（SARS）･南米出血熱・鳥インフルエンザ(H5N1)	治癒するまで。

第二種	出席停止の基準 （結核を除く）
インフルエンザ･百日咳・麻疹・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）･風疹・水痘（水ぼうそう）･咽頭結膜熱（プール熱）･結核・髄膜炎菌性髄膜炎	インフルエンザは解熱後二日を経過するまで。 流行性耳下線炎（おたふくかぜ）は耳下線の腫脹が消失するまで。

第三種	出席停止の基準 （結核を含む）
コレラ･細菌性赤痢･管出血性大腸菌感染症（O-157）･腸チフス・パラチフス・流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎・溶連菌感染症・ウイルス性肝炎・手足口病・伝染性紅斑・ヘルパンギーナ・マイコプラズマ感染症・感染性胃腸炎	医師が伝染のおそれがないと認めるまで。

〔4〕学生支援カウンセリング制度

学生の皆さんが、より充実した学生生活を過ごせるように、下記のような様々な個別相談に対応するカウンセリング制度があります。就職相談をはじめ、進路に関する質問や学習方法、留学相談、大学編入、ライフカウンセリングなど、あらゆる相談について専門のアドバイザーからアドバイスを受けられます。

1．就職カウンセリング（就職相談）

場所：神田外語本部ビル２階キャリアセンター／学生支援部（就職支援チーム）

業界別の専門の担当者が就職に関するあらゆる相談に応じます。就職に関する各種ガイダンス・説明会なども企画しています。詳しくは P64「6.就職相談」を参照して下さい。

2．学習アドバイジング

場所：３号館１階　ＶＩＳＴＡ

「英語の勉強方法が良くわからない」「TOEIC のスコアがなかなか上がらない」等、自分一人で考えても分からない事について専門のラーニングアドバイザーが丁寧に細かく指導します。

3．海外留学カウンセリング（語学留学・正規留学・ワーキングホリデー）

場所：神田外語本部ビル５階　留学センター

留学センターでは、在学中の短期語学留学・卒業後の正規留学・ワーキングホリデーなどについて、留学先の紹介や手続き上、学習上のアドバイスを行っています。通常のアドバイジング業務に加え、情報発信センターとして、留学先や目的別に、説明会を定期的に開催しております。留学に関する相談・カウンセリングは予約制です。（KIFL Info-web から予約）詳しくは P68 の「8.留学相談」を参照して下さい。

4．大学編入学カウンセリング（神田外語大学・他大学）

場所：神田外語本部ビル５階　大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）

神田外語大学・他大学への受験対策方法や、編入学全般についての個人相談に応じ、個人指導が受けられます。（KIFL Info-web から予約）
センター主催の各種説明会や講座が実施されるので、併せて出席して下さい。

５．ライフカウンセリング（精神・心理カウンセリング）

場所：神田外語本部ビル４階　学生相談室

悩みや、迷いの多い学生生活、そして、色々なことが気になる年代です。学生相談室では、専門のカウンセラーが、皆さんが直面する様々なことに対して、一緒に考え、改善・解決に向けてのお手伝いをします。もちろん相談の秘密は守られます。気軽にご利用下さい。

＜相談内容＞

学院生活に関すること、あるいは自分にとって大切なことなら、どんな相談にも応じます。たとえば、次のような相談がよく聞かれます。

★自分自身

「イライラする」「落ち込む」「無気力」「孤独感」「不安感」「生きていくのが辛い」「自分の性格をなんとかしたい」「自分を傷つけてしまう」「人が信じられない」等

★心身の健康（ストレスによる体調不良など）

「食欲のコントロールができない」「眠れない」「呼吸が苦しい」「吐き気がする」等

★家族のこと　★友人関係　★異性関係　★他の対人関係

★進路や将来　★経済的悩み　★その他

６．健康カウンセリング（医務室）

場所：神田外語本部ビル４階　医務室

看護師が在室し、応急処置はもとより、年に一度の健康診断や日常の健康に関する相談も行っています。※自分の健康保険証を毎日携帯して下さい。

〔５〕奨学金制度

本学院で取扱いのある奨学金は、「日本学生支援機構」及び「東京都私学財団」の二つです。例年４月に募集要項が発表され、その後学内で申込説明会を行います。詳しくは学生支援部（学生支援チーム）まで。

〔６〕その他

１．学院生活におけるマナー違反について（懲戒）

一部の学生によるマナー違反によって、多くの人に多大な迷惑をかけることがあります。下記のような行為は、本学院の学生として決して許されることではありません。場合によっては、停学や退学等の厳罰をもって対応せざるを得ないこともあります。節度ある行動は、学院に在籍する学生の義務であり、社会への第一歩でもあります。思いやりの心を常に忘れずに、規律ある学院生活を送りましょう。

⑴ 授業妨害…授業の円滑な進行を妨げるような私語、携帯電話・カメラ等使用、飲食、その他の授業受講にふさわしくない行為。
⑵ 喫煙等に関するマナー違反…喫煙場所を守らない、未成年者の喫煙、吸殻のポイ捨て、路上喫煙。(千代田区生活環境条例により、路上喫煙は区内全域で過料の対象となります。)また、学内への酒類、危険物持ち込み。
⑶ 来校者や近隣の方々への迷惑行為…校舎近辺での座り込みや通行を妨げる立ち話、騒音、ゴミの散らかし、飲食、その他公共の場でふさわしくない行為。
⑷ 校内(ブリティッシュヒルズ含む)に於いて禁止事項に違反をし、教育の場として相応しくない言動をとった場合。
⑸ 学院からの指示に従わず、団体行動を乱す言動があった場合。
⑹ 教職員に対して不適切な言動をとった場合。
⑺ 公欠・遅延等で不正申請があった場合。
⑻ 学内・外に於いて、学生、及び教職員の個人情報、画像等の漏えい、肖像権の侵害などの行為に及んだ場合。

2．ハラスメント防止・調査委員会について

本学院では、全ての学生及び教職員が個人として尊重され、互いの信頼のもとに勉学や課外活動、教育、業務にいそしむことのできる健全な環境を維持することがなによりも重要と考えています。相互信頼を損なうような行為(ハラスメント＝いやがらせ)は、人権を侵害するものです。本学院の秩序を乱し、教育及び学問の場としての学院存立そのものを危うくするものです。本学院では、いかなる形態のものであっても、ハラスメントとみなされる行為は決して許されません。そのため本学は、「ハラスメント防止・調査委員会」を設置し、常時、学生・教職員の相談に応じています。また、ハラスメント防止の為の啓蒙活動を継続的に行い、ハラスメント問題に真剣に取り組んでいます。

ハラスメントとは

本学院では、勉学・課外活動、教育、就業上の関係を利用してなされる次のような行為はすべてハラスメントとみなされ、相応の処分が下されることがあります。

⑴ 利益または不利益をほのめかしながら、相手方の望まない行為や、誘いかけをすること。
⑵ 要求・誘いかけに応じるか否かによって、相手方に不快な思いや精神的苦痛を与え、利益または不利益を与えること。
⑶ その他嫌がらせ行為を行うこと。

具体的には以下が該当します。

・性的な含みのある言動
・電話、電子メール等による脅迫

・無言電話、わいせつ物の送付
・作為的な個人攻撃、いじめ行為
・ストーカー行為

ハラスメントについての相談窓口

学生支援部（学生支援チーム）（本館１階)、学生相談室（神田外語本部ビル４階)、医務室（神田外語本部ビル４階）となっています。また、“学生の声”（投書箱）やメールでの相談も可能です。直接の被害者のみならず、他の学生や教職員に対するハラスメントを不快に思う人でも相談できます。ひとりで悩まずに、勇気を持ってすみやかに相談して下さい。秘密は厳守します。相談者、証言者に不利益が及ぶことは決してありません。この制度についてもっと詳しく知りたい学生相談窓口（学生支援部（学生支援チーム)、学生相談室、医務室）でいつでも、ハラスメントの防止・調査に関する規則を閲覧できます。

2．教務に関して

年間スケジュール（1・2年生対象）

※ スケジュールは変更されることがあります。変更の際には「KIFL Info-web」及び「学院カレンダー」でお知らせします。
（学院カレンダーをスマートフォンや iPad にインストールしてください）

4 月	6 日（火）・7 日（水）2 年生　オリエンテーション（学科別）	
	8 日（木）～11 日（日）1 年生　オリエンテーション（学科別）	
	12 日（月）	入学式・保護者会
	13 日（火）・14 日（水）2 年生健康診断・教材配布（学科別）	
	15 日（木）・16 日（金）1 年生健康診断・教材配布（学科別）	
	19 日（月）	1 学期授業開始
	29 日（木）～5 月 5 日（水）ゴールデンウィーク休み	
5 月	7 日（金）・8 日（土）第 1 回学内 TOEIC（学科別全員受験・通常授業休講）	
7 月	15 日（木）・17 日（土）第 2 回学内 TOEIC（学科別全員受験・通常授業休講）	
	22 日（木）	海の日　特別授業日
	23 日（金）	スポーツの日　特別授業日
	30 日（金）	1 学期最終授業日
8 月	5 日（木）成績確認日（後日案内あり）	
	6 日（金）・7 日（土）夏季再履修登録日（学科学年別・後日案内あり）	
	6 日（金）～29 日（日）夏季休暇	
	30 日（月）	2 学期授業開始
9 月	23 日（木）	秋分の日　特別授業日
11 月	3 日（水）	文化の日　特別授業日
	6 日（土）	SPI テスト（1 年生のみ・後日案内あり）
	12 日（金）	学園祭（午前：通常授業・午後：休講） ※中止の場合は通常授業（後日案内あり）
	23 日（火）	勤労感謝の日　特別授業日
12 月	1 日（水）・16 日（木）第 3 回学内 TOEIC（学科別全員受験・通常授業休講）	
	13 日（月）	2 学期最終授業日
	20 日（月）～23 日（水）成績確認日（後日案内あり）	
	24 日（金）・25 日（土）再履修講座登録・3 学期選択科目最終登録 （学科学年別・後日案内あり）	
	27 日（月）～1 月 6 日（木）冬季休暇	

1 月	7 日（金）	3 学期授業開始
2 月	23 日（水）	天皇誕生日　特別授業日
3 月	7 日（月）	3 学期最終授業日
	8 日（火）	第 4 回学内 TOEIC （1 年生・英語専攻科 2 年生のみ・後日案内あり）
	9 日（水）	就活祭（1 年生就職希望者・後日案内あり）
	14 日（月）	2 年生　卒業判定発表（後日案内あり）
	15 日（火）	1 年生　進級判定発表（後日案内あり）
	22 日（火）	卒業式・卒業パーティー　※日程が変更になる場合があります。
	23 日（水）	卒業式・卒業パーティー　※日程が変更になる場合があります。

※ 学内 TOEIC（全員受験）を未受験の場合には進級・卒業が認定されません。

※ 任意受験の学内 TOEIC、及び学内で受験申込のできる検定試験の予定は、KIFL Info-web にて後日発表します。

EIC 授業スケジュール			
1 学期	CS	前　半	4 月 19 日（月）　～　6 月 11 日（金）
		後　半	6 月 14 日（月）　～　7 月 30 日（金）
	EF/EIP/IO	学期間	4 月 19 日（月）　～　7 月 30 日（金）
2 学期	CS	前　半	8 月 30 日（月）　～　10 月 22 日（金）
		後　半	10 月 25 日（月）　～　12 月 13 日（金）
	EF/EIP/IO	学期間	8 月 30 日（月）　～　12 月 13 日（金）
3 学期	CS・EF・IP・IO	学期間	1 月 7 日（金）　～　3 月 7 日（月）

教務関係諸制度

※留学科はＰ45～、英語基礎養成科はＰ57～をご覧下さい。
※グローバルコミュニケーション科は、Ｐ22「グローバルコミュニケーション科の進級・卒業に関する規定」も参照して下さい。

〔1〕学　科　目

1．学科目は、以下のように構成されます。

Ａ．共通科目　Ｂ．専門科目・専攻科目　Ｃ．選択科目

2．学科科目

Ａ．共通科目

下記の各分野の科目が設定されています。但し、入学年度、学科によって設定科目が異なりますので、詳細については各学科別単位修得区分で確認して下さい。

(1) English for International Communication (EIC)
(2) Hybrid English Learning Program (HELP)
(3)英語基礎演習（英文法）
(4) TOEIC 講座
(5)キャリア開発
(6) IT(Information Technology)ビジネスソフト・トレーニング

Ｂ．専門科目・専攻科目

各学科の専門科目・専攻科目に関しては、各学科単位修得区分で確認して下さい。

Ｃ．選択科目

選択科目は原則として３学期に履修します。
選択科目の卒業要件単位は１単位～14 単位で、学科により異なります。(選択科目がない学科もある)
詳しい科目内容は、選択科目登録時 KIFL Info-web 上に掲載される３学期履修登録ガイドブックを参照して下さい。

〔2〕時間割の構成

1．総　説

各人の時間割は、共通科目と学科別指定専門科目、さらに選択科目を含んだ3分野から構成されています。

2．学期、単位、授業時間、授業形態

1年間で学期は、1学期・2学期・3学期に分かれます。

1・2学期は原則として各16週、3学期は8週で構成され、合計40週で1学年としています。

1単位は、45分の授業を週1回、1学期間受講し、合格した場合に修得できる単位数です。1・2学期は、2授業時間（90分＝45分×2、途中5分間の休憩）の授業を週1回、16週受講することで2単位となります。[学科別単位修得区分で、⑵と記載]

但し、3学期は、8週となるため、週に1回の科目は1単位になります。

また、2授業時間（途中5分間の休憩）を1コマと呼びます。

授業は実践力を養うための実習や演習が主となります。一部講義科目の扱いを受けるものもあります。

3．学期授業日、及び単位修得区分

A．学期授業日

1学期：4月19日～7月30日

2学期：8月30日～12月13日

3学期：1月7日～3月7日

B．単位修得区分

2年制専門課程を卒業するためには、単位修得区分に従い、各学科で定められた授業科目および所定の単位を修得しなければなりません。（※この単位修得区分は、2年間に於ける各学期末・3学期での標準修得単位数を示し、「卒業見込証明書」発行の際の基準となります。）

〔3〕成績について

出席時間数・授業態度・発表・テスト・提出物等で判断されます。それぞれの科目が合格になるためには、各教科の成績で合格し、さらに出席時間数でも基準を満たしていなければなりません。

評 価	点 数	成績証明書
合格―A	90~100 点	「秀」と表示
合格―B	80~89 点	「優」と表示
合格―C	70~79 点	「良」と表示
合格―D	60~69 点	「可」と表示
合格―P	――	「合」と表示
不合格―F	59 点以下	不合格科目名は表示しない

〔4〕履修科目、単位について

A．共通科目

1．共通科目は、学年で「1」と「2」に分かれています。

（例：1年生―EIC 1 、 2 年生―EIC 2 ）。

但し、単位は学年毎に独立していますので、成績表上、各科目は学期毎にⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳというように分かれています。単位の配分は科目によって異なりますので各学科単位修得区分を参照して下さい。

2．共通科目は、卒業までに必要単位をすべて修得しなければなりません。

各学期で単位が認定されますが、不合格となり単位が修得できなかった科目については、指定される再履修講座又は再履修課題（受講登録料別途必要）を受講・合格し、不足単位を補うことになります。

再履修の履修可能単位には制限があり、不合格科目が多数あると進級や卒業に支障をきたしますので十分に注意して下さい。

再履修講座の詳細に関しては、別途発表します。

B．専門科目・専攻科目

英語専攻、アジア／ヨーロッパ言語、児童英語教育、国際ビジネスキャリア、国際観光、国際ホテル、国際エアラインの各学科

学科別の専門科目・専攻科目は、学期毎に単位が認定されます（２学期以上をまたぐ科目もある)。不合格となり単位が修得できなかった科目については、再履修講座、又は再履修課題（再履修登録料別途必要）が設定され、それを受講・合格することによって未修得分の単位を補うことになります。それぞれの科目の再履修がどのような形態で行われるかについては、再履修案内（別途掲示）を参照して下さい。

総修得単位数が卒業要件を充たしていても各学科別の指定専門科目を全て修了していない場合には、卒業が認められません。

C．選択科目について

選択科目は主に３学期に履修します。卒業に必要な単位数は、各学科で指定されています（各学科別のカリキュラム表を参照)。

１・２学期は、２授業時間（90 分＝45 分×２、途中５分間の休憩）の科目を週１回受講・合格で２単位の設定となっていますが、３学期に関しては、通常学期より短い期間で行われますので、２授業時間の科目を週２回受講し合格した場合に２単位修得となります。

選択科目は、３学期で履修するほかに各種資格検定試験の合格、海外短期留学その他、任意で受講する講座の修了等でも単位が認定される場合があります。(認定される検定試験及び単位数については、Ｐ75 参照)

〔5〕進級・卒業に関する規定

１．卒業までのケース

(1) １年生を１回、２年生を１回、計２年間で卒業する。

(2) １年生を２回、２年生を１回、計３年間で卒業する。(１年次留年)

(3) １年生を１回、２年生を２回、計３年間で卒業する。(２年次留年)

※３年間を越えて在籍することはできない。(休学期間を含む。)

２．進級について

１年次修了時に、下記【共通科目】、【専門科目・専攻科目】、【英語能力テスト】の要件をすべて充たした者に対して、学院は２年次への進級を認めます。

２年次進級要件

【共通科目】

(1) English for International Communication(EIC)の Communication Strategies の Ⅰ～Ⅳの各３単位、合計 12 単位の内、9 単位以上修得していること（Ⅰ～Ⅳのうち、3 つ以上に合格していること)。

(2) English for International Communication(EIC)の English Foundations の Ⅰ・Ⅱの単位を全て修得（合格）していること。

(3) 各共通科目の１年次Ⅰ・Ⅱ（２学期分）の全ての単位を修得（合格）していること。

【専門科目】

１年１・２学期の専門科目全ての単位を修得（合格）していること。

【選択科目】

選択科目の単位修得状況については２年次進級の要件としては問いません。

※１年次修了の時点で選択科目の修得単位数が少ない場合、２年次の３学期に於いて卒業要件単位を修得しきれず、２年次留年ということもあります。

上記進級基準に関わらず、以下の項目のいずれかに抵触する場合、判定会議上、進級を取り消すことがある。

【英語能力テスト】

(1)学内 TOEIC（全員受験）・統一単語テストを全て受験しなければなりません。

(2)英語専攻科は進級認定テスト（TOEIC スピーキングテスト）を受験しなければなりません。

(3)TOEIC の進級基準点をクリアできない場合には、指定された特別補講を受講しなければなりません。

※インドネシア語・ベトナム語・タイ語コースは、１年次３学期から２年次１学期にかけて留学が必須です。1 年次 2 学期終了時に進級要件を充たしている必要があります。

３．１年次留年

前記〔２．進級〕の要件を充たせない場合は、１年次生として留年し、進級に必要な不合格科目の単位を補います。この場合２年次の共通科目、学科別指定専門科目の履修は一切認められません。

４．休学の手続き

学則第 22 条に定めるところにより休学を希望する者は、学生支援部（学生支援チーム）で休学願用紙を受け取り、面接を受けることになります。その後に休学願及び事由を証明する書類を揃えて、保証人連署の上、速やかに学生支援部（学生支援チーム）に提出して下さい。学院長の許可を得て休学となります。

５．復学の手続き

学則第 22 条に定めるところにより休学した者が復学を希望する場合は、本学院所定の復学願・休学期間における経過報告書・医師の許可書・その他休学の理由が消滅したことを証明する書類を学生支援部（学生支援チーム）に提出して下さい。学院長の許可を得て復学となります。

６．退学の手続き

退学を希望する者は、学生支援部（学生支援チーム）で退学届用紙を受け取り、面接を受けなければなりません。退学届、学生証、及び事由を証明する書類を揃えて、保証人連署の上、速やかに学生支援部（学生支援チーム）に提出して下さい。学生支援部（学生支援チーム）に提出後は、退学の撤回は出来ません。学院長の許可を得て退学となります。

７．卒業要件

下記「共通科目」、「専門科目・専攻科目」、「選択科目」、「学内 TOEIC（全員受験)」「卒業認定テスト（英語専攻科、及び、国際エアライン科：TOEIC SW／S テスト）受験」の要件を全て充たした者に対して、学院は当該学科の卒業を認め、「専門士」の称号を授与します。

「共通科目」

全学科共通必修科目の所要単位数を在籍３年以内で修得した者。

「専門科目・専攻科目」

学年、学科、コース毎に指定された「学科別指定専門科目」の所定の単位数を在籍３年以内で修得した者。

「選択科目」

学科別に指定された、所定の単位数を在籍３年以内に修得した者。

卒業要件単位の修得に関わらず、以下の項目のいずれかに抵触する場合、判定会議の上、「卒業保留」とすることがある。

「学内全員 TOEIC」

全員受験 TOEIC を全て受験しなければなりません。

「卒業認定テスト」

英語専攻科、及び、国際エアライン科は卒業認定テストを受験しなければなりません。

「特別補講」

TOEIC の卒業基準点をクリアできない場合には、指定された特別補講を受講し、卒業認定テストを受けなければなりません。

8．卒業見込証明書の発行

卒業見込証明書は２年次１学期以後、下記の要件を充たしている学生に対して発行されます。

卒業見込証明書発行時点で、標準修得単位数（各学科単位修得区分）に対して、共通科目・専門科目・専攻科目の合計で７単位以上の遅れ（単位不足）が無い場合。

注意：上記の要件を充たしていても、進行中の学期中に欠席過多等の理由により既に不合格となっている科目があり、学期終了を待たずに７単位以上の遅れ（単位不足）が確定している場合には、卒業見込証明書は発行されません。

※ 卒業見込証明書は就職活動や大学編入試験等の際に必要となる書類です。従って、１年次修了時に共通科目・専門科目・専攻科目に７単位以上の不合格科目があり、卒業見込証明書が発行されない場合、就職活動や大学編入試験等に大きな支障をきたします。

グローバルコミュニケーション科の進級・卒業に関する規定

① 卒業までのケース

１．１年生を１回、２年生を１回、計２年間で卒業する。

２．１年生を２回（１年次留年の場合)、２年生を１回、計３年間で卒業する。

３．１年生を１回、２年生を２回（２年次留年の場合)、計３年間で卒業する。

＊３年間を越えて在籍することはできない。(休学期間を含む。)

② 進級

再履修講座または課題終了後「専門科目」の要件を全て充たしたものに対して、２年次への進級を認めます。

③ １年次留年

進級の要件を充たせない場合は、１年次生として留年し、進級に必要な単位を補わなくてはなりません。この場合は２年次学科別指定専門科目の履修は一切認められません。

④ 出席について　他学科同様（P5―〔３〕参照）

⑤ 休学の手続き　他学科同様（P20―４参照）

⑥ 復学の手続き　他学科同様（P20―５参照）

⑦ 退学の手続き　他学科同様（P20―６参照）

⑧ 卒業

下記「専門科目」、「選択科目」の要件及び TOEIC の卒業要件（800 点以上）を充たした者に対し学院は当該学科の卒業を認め、「専門士」の称号を授与します。

「専門科目」

「専門科目」の所定の単位数を在籍３年以内で修得した者。

「選択科目」

科目の種類を問わず、所定の単位数を在籍３年以内で修得した者。

⑨ 卒業見込証明書の発行　他学科（P21―８参照）に同じ。

英語専攻科【1年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)		6	6	3				15
	EIC (E.F)		4	4	2				10
	EIC (E.P)					4	4	2	10
	EIC (I.O)					4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1		2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2					2*	2*		4(医0)
	TOEIC講座 1A		2	2	1				5
	TOEIC講座 1B		2	2	1				5
	TOEIC講座 2					2	2		4
	キャリア開発		2	2	1	2*	2*		9(医5)
	ビジネスソフトトレーニング(BST)		2	2	1				5
専門科目	英語基礎演習(英文法)		2	2					4
	英語基礎演習(リーディング)		2	2					4
	英語基礎演習(英作文)		2	2					4
	英語表現演習		2	2					4
	ジャパン・スタディーズ		2	2					4
	英語資格対策講座					2	2		4
	TOEIC SPEAKING				1				1
	TOEIC WRITING				1				1
	TOEIC S/W					2*	2*		4(医0)
専攻科目	通訳・翻訳専攻	通訳・翻訳演習 A			2	4	4		10
		通訳・翻訳演習 B			2	2	2		6
	医療通訳専攻	医療通訳演習 A			2	6	6		14
		医療通訳演習 B			2	6	6		14
	英語キャリア専攻	ビジネスキャリアディベロップメント演習			2	4	4		10
		ビジネス英語演習			2	2	2		6
	大学編入専攻	大学編入対策 A			2	2	2		6
		大学編入対策 B			2	4	4		10
専門補習科目	Foundations for English Learners			(2)	(1)				(3)
	English for the Advanced			(2)	(1)				(3)
選択科目								3	3
合計			75			55			130

※英語専攻科は、1年次3学期より「通訳・翻訳専攻」、「医療通訳専攻」、「英語キャリア専攻」、「大学編入専攻」に分かれます。
※医療通訳専攻の学生は、2年次1・2学期のHELP、キャリア開発、TOEIC S/Wを履修しません(表の*印に該当)。
※専門補習科目は1年次1学期末及び2学期末に対象者を決定し、該当の学生のみが履修をします。取得した単位は、2年次3学期の選択科目の単位として充当することができます。

英語専攻科【2年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)		6	6	3				15
	EIC (E.F)		4	4	2				10
	EIC (E.P)					4	4	2	10
	EIC (I.O)					4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1		2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2					2*	2*		4(医0)
	TOEIC講座 1A		2	2	1				5
	TOEIC講座 1B		2	2	1				5
	TOEIC講座 2					2	2	1	5
	キャリア開発		2	2	1	2*	2*		9(医5)
	ビジネスソフトトレーニング(BST)		2	2	1				5
専門科目	英語基礎演習(英文法)		2	2					4
	英語基礎演習(リーディング)		2	2					4
	英語基礎演習(英作文)		2	2					4
	英語表現演習		2	2					4
	ジャパン・スタディーズ					2	2		4
	英語プレゼンテーション					2	2		4
	TOEIC SPEAKING				1				1
	TOEIC WRITING				1				1
	TOEIC S/W					2*	2*	1	5(医1)
専攻科目	通訳・翻訳専攻	通訳・翻訳演習 A			2	2	2		6
		通訳・翻訳演習 B			2	2	2		6
	医療通訳専攻	医療通訳演習 A			2	6	6		14
		医療通訳演習 B			2	6	6		14
	英語キャリア専攻	ビジネスキャリアディベロップメント演習			2	2	2		6
		ビジネス英語演習			2	2	2		6
	大学編入専攻	大学編入対策 A			2	2	2		6
		大学編入対策 B			2	2	2		6
専門補習科目	Foundations for English Learners			(2)	(1)				(3)
	English for the Advanced			(2)	(1)				(3)
選択科目								5(医1)	5(医1)
合計			71			59			130

※英語専攻科は、1年次3学期より「通訳・翻訳専攻」、「医療通訳専攻」、「英語キャリア専攻」、「大学編入専攻」に分かれます。
※医療通訳専攻の学生は、2年次1・2学期のHELP、キャリア開発、TOEIC S/Wを履修しません(表の*印に該当)。医療通訳専攻の学生は、2年次3学期に選択科目を1単位分履修して下さい。
※専門補習科目は1年次1学期末及び2学期末に対象者を決定し、該当の学生のみが履修をします。取得した単位は、2年次3学期の選択科目の単位として充当することができます。

アジア／ヨーロッパ言語科
フランス語・スペイン語・中国語コース【1年生】

科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1*				4(1*)
	TOEIC講座 1B	2	2	1*				4(1*)
	TOEIC講座 2				2*	2*		(4*)
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	専攻語文法	4	4	1				9
	専攻語会話	4	4	1				9
	専攻語検定講座 1	4	4	1				9
	専攻語上級文法				2	4		6
	専攻語上級会話				4	4		8
	専攻語検定講座 2				4	2		6
選択科目				2			2	4
合計		80			50			130 選択科目 ※(6*)

※卒業要件ではありませんが、履修をお薦めします。

アジア／ヨーロッパ言語科
フランス語・スペイン語・中国語コース【2年生】

科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1*				4(1*)
	TOEIC講座 1B	2	2	1*				4(1*)
	TOEIC講座 2				2*	2*		(4*)
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	専攻語文法	4	4	1				9
	専攻語会話	4	4	1				9
	専攻語検定講座 1	4	4	1				9
	専攻語上級文法				2	4		6
	専攻語上級会話				4	4		8
	専攻語検定講座 2				4	2		6
選択科目				2			2	4
合計		80			50			130 選択科目 ※(6*)

※卒業要件ではありませんが、履修をお薦めします。

アジア／ヨーロッパ言語科
韓国語コース【1年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目		EIC (C.S)	6	6	3				15
		EIC (E.F)	4	4	2				10
		EIC (E.P)				4	4	2	10
		EIC (I.O)				4	4	2	10
		Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
		Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
		TOEIC講座 1A	2	2	1*				4(1*)
		TOEIC講座 1B	2	2	1*				4(1*)
		TOEIC講座 2				2*	2*		(4*)
		英語基礎演習(英文法)	2	2					4
		キャリア開発	2	2	1	2	2		9
		ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目		韓国語文法	6	4	1				11
		韓国語作文		2					2
		韓国語会話	4	4	1				9
		韓国語検定講座 1	2	2	1				5
専攻科目	語学専攻	韓国語上級文法				2	4		6
		韓国語上級会話				4	4		8
		韓国語検定講座 2				4	2		6
	韓国大学編入専攻	韓国語小論文				2	2		4
		韓国語応用文法				2	2		4
		韓国語プレゼンテーション				2	2		4
		韓国語ディスカッション					2		2
		韓国語検定講座 2				4	2		6
選択科目					2			2	4
合計			80			50			130 選択科目 ※(6*)

※単位取得した場合、選択科目としてみなします。

アジア／ヨーロッパ言語科
韓国語コース【2年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目		EIC (C.S)	6	6	3				15
		EIC (E.F)	4	4	2				10
		EIC (E.P)				4	4	2	10
		EIC (I.O)				4	4	2	10
		Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
		Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
		TOEIC講座 1A	2	2	1*				4(1*)
		TOEIC講座 1B	2	2	1*				4(1*)
		TOEIC講座 2				2*	2*		(4*)
		英語基礎演習(英文法)	2	2					4
		キャリア開発	2	2	1	2	2		9
		ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目		韓国語文法	6	4	1				11
		韓国語作文		2					2
		韓国語会話	4	4	1				9
		韓国語検定講座 1		4	1				5
専攻科目	語学専攻	韓国語上級文法				2	4		6
		韓国語上級会話				4	4		8
		韓国語検定講座 2				4	2		6
	韓国大学編入専攻	韓国語小論文				2	2		4
		韓国語応用文法				2	2		4
		韓国語プレゼンテーション				2	2		4
		韓国語ディスカッション					2		2
		韓国語検定講座 2				4	2		6
選択科目					2			2	4
合計			80			50			130 選択科目 ※(6*)

※単位取得した場合、選択科目としてみなします。

アジア／ヨーロッパ言語科
インドネシア語・ベトナム語・タイ語コース【1年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期		1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6					12
	EIC (E.F)	4	4					8
	EIC (E.P)					4	2	6
	EIC (I.O)					4	2	6
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2					2		2
	TOEIC講座 1A	2	2					4
	TOEIC講座 1B	2	2					4
	TOEIC講座 2					2		2
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2					4
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2					4
専門科目	専攻語　読解	2	2			2		6
	専攻語　作文	2	2			2		6
	専攻語　発音・会話	2	2					4
	専攻語　上級会話					2		2
	専攻語　Listening	2	2					4
	Language for Business					2		2
	東南アジア文化・企業研究	2	2			2		6
	専攻語検定講座	4	4			4		12
	文化・語学実地研修『留学』			34				34
選択科目							2	2
合計		72		34		32		138

アジア／ヨーロッパ言語科
インドネシア語・ベトナム語・タイ語コース【2年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期		1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6					12
	EIC (E.F)	4	4					8
	EIC (E.P)					4	2	6
	EIC (I.O)					4	2	6
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2					2		2
	TOEIC講座 1A	2	2					4
	TOEIC講座 1B	2	2					4
	TOEIC講座 2					2		2
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2					4
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2					4
専門科目	専攻語　読解	2	2			2		6
	専攻語　作文	2	2			2		6
	専攻語　発音・会話	2	2					4
	専攻語　上級会話					2		2
	専攻語　Listening	2	2					4
	Language for Business					2		2
	東南アジア文化・企業研究	2	2			2		6
	専攻語検定講座	4	4			4		12
	文化・語学実地研修『留学』			34				34
選択科目							2	2
合計		72		34		32		138

国際ビジネスキャリア科【1年生】								
科目名 ＼ 履修学年・学期		1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	ビジネス英語入門	2	2					4
	English for Business Career				2	2		4
	財務会計	4	4					8
	財務分析			2				2
	中国文化コミュニケーション講座				2	2		4
	キャリア研究	2	2					4
	企業研究	2	2	1				5
	ビジネスリサーチ				2	2		4
	企業英語				2	2		4
	ビジネス研究演習(ゼミ)				2	2		4
選択科目							2	2
合計		76			54			130

国際ビジネスキャリア科【2年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期		1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	ビジネス英語入門	2	2					4
	English for Business Career				2	2		4
	財務会計	4	4					8
	財務分析			2				2
	中国文化コミュニケーション講座				2	2		4
	キャリア研究	2	2					4
	企業研究	2	2	1				5
	ビジネスリサーチ				2	2		4
	企業英語				2	2		4
	ビジネス研究演習(ゼミ)				2	2		4
選択科目							2	2
合計		76			54			130

児童英語教育科【1年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)		6	6	3				15
	EIC (E.F)		4	4	2				10
	EIC (E.P)					4	4	2	10
	EIC (I.O)					4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1		2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2					2	2		4
	TOEIC講座 1A		2	2	1				5
	TOEIC講座 1B		2	2	1				5
	TOEIC講座 2					2	2		4
	英語基礎演習(英文法)		2	2					4
	キャリア開発		2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)		2	2	1				5
専門科目	発音クリニック		2	2					4
	English Usage		2	2					4
	コミュニケーションスキル		2	2					4
	児童英語指導法 A		2	2					4
	児童英語指導法 B		2	2					4
	Teaching Basics				1				1
	児童英語指導演習				1				1
	初等教育法				1				1
	インターンシップ					2	2		4
	初等英語教育概論					2			2
	教育演習						2		2
	Storytelling					2	2		4
	子どもの発達と学習					2	2		4
専攻科目	児童英語教師専攻	Effective Teaching Skills				2	2		4
	教員免許取得大学編入専攻(幼稚園・小学校)	初等教育研究法				2	2		4
選択科目								2	2
合計			76			54			130

児童英語教育科【2年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)		6	6	3				15
	EIC (E.F)		4	4	2				10
	EIC (E.P)					4	4	2	10
	EIC (I.O)					4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1		2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2					2	2		4
	TOEIC講座 1A		2	2	1				5
	TOEIC講座 1B		2	2	1				5
	TOEIC講座 2					2	2		4
	英語基礎演習(英文法)		2	2					4
	キャリア開発		2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)		2	2	1				5
専門科目	発音クリニック		2	2					4
	English Usage		2	2					4
	コミュニケーションスキル		2	2					4
	児童英語指導法 A		2	2					4
	児童英語指導法 B		2	2					4
	Teaching Basics				1				1
	児童英語指導演習				1				1
	初等教育法				1				1
	インターンシップ					2	2		4
	初等英語教育概論					2			2
	教育演習						2		2
	Storytelling					2	2		4
	子どもの発達と学習					2	2		4
専攻科目	児童英語教師専攻	Effective Teaching Skills				2	2		4
	教員免許取得大学編入専攻(幼稚園・小学校)	初等教育研究法				2	2		4
選択科目								2	2
合計			76			54			130

国際エアライン科【1年生】									
科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	イメージコンサルティング 1	2	2	1				5
	社会人基礎力養成講座 1	2	2	1				5
	時事研究	2	2	1				5
	美しい日本語講座	2	2	1				5
	エアライン業界研究	2	2	1				5
	イメージコンサルティング 2				2	2		4
	社会人基礎力養成講座 2				2	2		4
	英語面接・接遇英語				2			2
	TOEIC SPEAKING				2	2		4
	接遇中国語/接遇韓国語(言語を選択)				2	2		4
選択科目							2	2
合計		78			52			130

国際エアライン科【2年生】									
科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	イメージコンサルティング 1	2	2					4
	社会人基礎力養成講座	2	2					4
	時事研究	2	2	1				5
	美しい日本語講座	2	2	1				5
	エアライン業界研究	2	2	1				5
	イメージコンサルティング 2				2	2		4
	接遇力養成講座				2	2		4
	英語面接・接遇英語				2	2		4
	TOEIC SPEAKING				2	2		4
	接遇中国語/接遇韓国語(言語を選択)				2	2		4
選択科目							2	2
合計		76			54			130

国際観光科【1年生】

科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	旅行業法	2						2
	旅行業約款	2						2
	国内旅行実務	2						2
	国内観光資源	2						2
	ツアーコンダクター実務	2	2					4
	海外旅行実務(アウトバウンド・ツーリズム)		2					2
	海外観光資源		2					2
	日本と世界の事象		2		2	2		6
	通訳ガイド実務(インバウンド・ツーリズム)				2	2		4
	English for Tourisum Careers				2	2		4
	中国語トラベル会話/韓国語トラベル会話 (言語を選択)				2	2		4
	業界・企業研究		2	1				3
	ツアープランニング			2	2	2		6
選択科目							2	2
合計		76			54			130

国際観光科【2年生】

科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	旅行業法	2						2
	旅行業約款	2						2
	国内旅行実務	2						2
	国内観光資源	2						2
	ツアーコンダクター実務	2	2					4
	観光英語		2					2
	海外旅行実務(アウトバウンド・ツーリズム)		2					2
	海外観光資源		2					2
	日本と世界の事象		2					2
	通訳ガイド実務(インバウンド・ツーリズム)				2	2		4
	English for Tourisum Careers				2	2		4
	中国語トラベル会話/韓国語トラベル会話 (言語を選択)				2	2		4
	業界・企業研究		2	1		2		5
	ツアープランニング			2	2	2		6
選択科目							2	2
合計		78			52			130

国際ホテル科【1年生】

科目名	履修学年・学期	1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	ホテル英会話	2	2	1*	2	2		9*
	ホテルビジネス	2	2	1*				5*
	料飲オペレーション	2	2					4
	ユニバーサルホスピタリティ	2						2
	ホテリエデザイン		2					2
	ビジネスマナー	2						2
	社会時事と一般常識		2	1*				3*
	宿泊実務＆マネジメント				2	2		4
	ブライダル概論				2	2		4
	異文化理解とプロトコール				2			2
	社会人基礎力育成					2		2
	中国語会話/韓国語会話(言語を選択)				2	2		4
	ホテル実務研修*(希望制)			(3*)				(3*)
選択科目							2	2
合計		76			54			130

※1年次3学期は、専門科目[ホテル英会話][ホテルビジネス][社会時事と一般常識]または[ホテル実務研修]を選択し履修する。

国際ホテル科【2年生】

科目名		1年次			2年次			単位
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	EIC (C.S)	6	6	3				15
	EIC (E.F)	4	4	2				10
	EIC (E.P)				4	4	2	10
	EIC (I.O)				4	4	2	10
	Hybrid English Learning Program (HELP) 1	2	2					4
	Hybrid English Learning Program (HELP) 2				2	2		4
	TOEIC講座 1A	2	2	1				5
	TOEIC講座 1B	2	2	1				5
	TOEIC講座 2				2	2		4
	英語基礎演習(英文法)	2	2					4
	キャリア開発	2	2	1	2	2		9
	ビジネスソフトトレーニング(BST)	2	2	1				5
専門科目	ホテル英会話	2	2	1*	2	2		9*
	ホテルビジネス	2	2	1*				5*
	料飲オペレーション	2	2					4
	ユニバーサルホスピタリティ	2						2
	ホテリエデザイン		2					2
	ビジネスマナー	2						2
	社会時事と一般常識		2	1*				3*
	宿泊実務＆マネジメント				2	2		4
	ブライダル概論				2	2		4
	異文化理解とプロトコール				2			2
	社会人基礎力育成					2		2
	中国語会話/韓国語会話(言語を選択)				2	2		4
	ホテル実務研修*(希望制)			(3*)				(3*)
選択科目							2	2
合計		76			54			130

※1年次3学期は、専門科目[ホテル英会話][ホテルビジネス][社会時事と一般常識]または[ホテル実務研修]を選択し履修する。

グローバルコミュニケーション科【1年生】

科目名		履修学年・学期	1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
共通科目	English	English Grammar	2	2					4
		Reading & Writing *	4	4					8
		Listening & Speaking *	4	4					8
		English Interview *（英語面接対策）	2	2					4
		プレゼンテーション概論 *	2	2					4
		English Usage （英語検定対策）	2	2		2	2		8
		English Usage S&W * （英語検定対策スピーキング &ライティング）				2	2		4
	Liberal Arts	日本語コミュニケーション	2	2					4
		Career Design （キャリア・デザイン）	2	2					4
		Programing 1	4	4					8
		History & Culture *	2	2		2	2		8
		Global Issues *（国際問題）	2	2		2	2		8
		Accounting *（会計）				2	2		4
		Debate *（ディベート）				2	2		4
	Guided Research	学習戦略	2	2	2	2	2		10
		卒業制作				3	4		7
アントレプレナーシップコース	Entrepreneurship	Entrepreneurship *（起業）	2	2		2	2		8
		Marketing *（マーケティング）	2	2		2	2		8
		Start-ups *（ビジネス構想）				2	2		4
		Economics *（経済学）				2	2		4
		Management *（マネジメント）				2	2		4
		Programing 2				4	4		8
		Intership または選択科目			14			●	14
国際協力コース	International Development	International Development Studies *（国際開発論）	2	2		2	2		8
		Theory of International Cooperation *（国際協力論）	2	2		2	2		8
		Medical and Risk Management（医療・危機管理 ）				2	2		4
		Data Analysis（データ分析）				2	2		4
		Area Studies（地域研究）				2	2		4
		Development Method(PCM、PDM) *（開発手法）				4	4		8
		Field Trip または選択科目			14			●	14
合計			84			63			147

*の科目は英語で授業を行います。 ●選択科目においては、1年次の不足単位を2年次に取得することができます。

グローバルコミュニケーション科【2年生】

科目名 ＼ 履修学年・学期			1年次			2年次			単位
			1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	
専門科目	English	English Grammar	2	2					4
		Reading & Writing ＊	4	4					8
		Listening & Speaking ＊	4	4					8
		English Usage（英語検定対策）	4	4		2	2		12
		English Usage S&W ＊ （英語検定対策スピーキング＆ライティング）				2	2		4
		Pronunciation（発音）	2	2					4
	Entrepreneurship	Business Communication ＊	2	2					4
		Career Design（キャリア・デザイン）	2	2					4
		History & Culture ＊	2	2		2	2		8
		プレゼンテーション概論 ＊	2	2					4
		English Interview ＊（英語面接対策）	2	2					4
		日本語コミュニケーション	2	2					4
		Debate ＊（ディベート）				2	2		4
		Economics ＊（経済）				2	2		4
		Accounting ＊（会計）				2	2		4
		Marketing ＊（マーケティング）				4	4		8
		Global Issues ＊（国際問題）				2	2		4
		Entrepreneurship ＊（起業）				4	4		8
		Start-Ups ＊（ビジネス構想）			2				2
	Programing	Programing 1	4	4	2				10
		Programing 2				4	4		8
	Guided Research	学習戦略	2	2		2	2		8
		卒業制作				3	3		6
選択科目					13			●	13
合計			85			62			147

＊の科目は英語で授業を行います。 ●選択科目においては、1年次の不足単位を2年次に取得することができます。

留　学　科

年間スケジュール

※年間スケジュールは変更されることがあります。

※表記：2 年生＝海外大学 3 年次編入コース 2 年生、1 年生＝海外大学 3 年次編入コース 1 年生

4 月	6 日（火）・7 日（水）オリエンテーション 2 年生
	8 日（木）・9 日（金）オリエンテーション 1 年生
	12 日（月）入学式
	13 日（火）・14 日（水）健康診断・教科書配布　2 年生
	15 日（木）・16 日（金）健康診断・教科書配布　1 年生
	19 日（月）授業開始 1 年生（1 学期）／2 年生（4 学期）
	29 日（木）～5 月 5 日（水）ゴールデンウィーク休み
5 月	6 日（木）授業再開　1 年生（1 学期）/ 2 年生（4 学期）
	7 日（金）・8 日（土）学内 TOEIC：全員受験（学科別）　全日休講
	16 日（日）保護者会　1 年生・2 年生（第 1 回）
6 月	1 日（火）第 1 回学内 TOEFL（1 年生・2 年生　全員受験・午後通常授業）
7 月	5 日（月）～7 月 9 日（金）期末試験　1 年生・2 年生
	8 日（木）第 2 回学内 TOEFL（1 年生　全員受験　午後 期末試験）
	9 日（金）第 2 回学内 TOEFL（2 年生　全員受験　午後 期末試験）
	12 日（月）～30 日（金）夏季特別講座（1 年生・2 年生　任意受講） 12 日（月）～30 日（金）夏季補講（夏季特別講座受講者以外の 1 年生・2 年生必修）
	13 日（火）成績開示日　1 年生・2 年生（再履修課題配布）
	15 日（木）学内 TOEIC：（留学科　全日休講）
	24 日（土）保護者会　2 年生（第 2 回）
8 月	4 日（水）・5 日（木）成績配布
	6 日（金）・7 日（土）再履修登録および支払日
	30 日（月）授業開始　1 年生（2 学期）／2 年生（5 学期）
9 月	4 日（土）保護者会　1 年生（第 2 回）
	7 日（火）第 3 回学内 TOEFL（2 年生 全員受験 午後通常授業）
10 月	1 日（金）第 4 回学内 TOEFL（1 年生 全員受験 午後通常授業／2 年生 任意受験・全日通常授業）
	2 日（土）保護者会　2 年生（第 3 回）

11 月	2 日（火）第 5 回学内 TOEFL（1 年生 全員受験 午後通常授業／2 年生 任意受験・全日通常授業）
	6 日（土）職業適性能力試験　1 年生全員（時間・教室は後日発表）
	12 日（金）学園祭（午前：通常授業 午後：休講）
	29 日（月）～12 月 3 日（金）期末試験　1 年生・2 年生
12 月	1 日（水）・16 日（木）学内 TOEIC：学科別全員受験・通常授業休講
	3 日（金）第 6 回学内 TOEFL（1 年生 全員受験 ／2 年生 任意受験）
	6 日（月）～13 日（月）冬季特別補講
	7 日（火）成績開示日　1 年生・2 年生（再履修課題配布）
	15 日（水）卒業パーティー 2 年生（日程は変更になる場合があります）
	18 日（土）保護者会　2 年生（第 4 回　最終回）
	20 日（月）・21 日(火）成績配布
	22 日（水）・23 日(木）成績配布
	24 日（金）・25 日(土）再履修登録および支払日
	27 日（月）～1 月 6 日（木）冬季休暇
1 月	7 日（金）授業開始　1 年生（3 学期）／2 年生（第 6 学期特別～2/25（金）まで）
	8 日（土）保護者会　1 年生（第 3 回）
2 月	11 日（金・祝）第 7 回学内 TOEFL （1 年生 全員受験 ／2 年生 任意受験）
	22 日（火）～25 日（金）期末試験 1 年生
3 月	1 日（火）成績開示日・再履修登録日 1 年生（再履修課題配布）
	7 日（月）～25 日（金）春季特別補講　1 年生 対象
	14 日（月）卒業判定　2 年生
	15 日（火）進級判定　1 年生
	22 日（火）・23 日（水）学院（全学科対象）卒業式・卒業パーティー（日程は変更になる場合があります）

注 1）学内 TOEFL の受験回数は、年次で異なります。

注 2）学内 TOEIC（年 2 回）は留学科内規による進級・卒業要件です（未受験の場合は、「任意受験」が必要となります）。

注 3）2 年生卒業パーティーは、これらの留学科独自の「祝賀会」を似て学院卒業パーティーの代替とします。

留学科　教務関係諸制度

コース名称と略称

① 海外大学３年次編入コース　　→ UTC

② コミュニティカレッジコース　→ CCC

学校名称と略称

① 提携４年制大学　　→ 提携４大

② 提携コミュニティカレッジ　→ 提携CC

１．学科科目構成区分

① 留学準備科目（Preparatory Subjects）

② 大学単位認定科目（Accredited Subjects）

(1) 共通科目（UTC・CCC 共に履修する科目）

(2) UTC 科目（UTC のみで履修する科目）

(3) CCC 科目（CCC のみで履修する科目）

(4) 夏季特別講座（Summer Program）

UTC は任意受講、CCC は全員受講

２．学科科目

① 留学準備科目

省略記号	科目名
NTG	ノートテイキング
RVD	リーディング＆ボキャブラリー
TFL	TOEFL 準備講座
ORT	留学オリエンテーション
CG	キャリアガイダンス

② 大学単位認定科目

⑴ 共通科目

UTC	CCC	科目名
COMM3	COMM122	コミュニケーション学 パブリックコミュニケーション基礎
CSCI 5	CSCI110	情報システム学　コンピュータ基礎
ECON40	ECON121	経済学　ミクロ経済学基礎
EES1（w. Lab.）	GEOL110/111	地質学　自然災害と地球科学
ENGL10	ENGL120	英語学　カレッジライティング
GEOG2	GEOG130	地理学　文化地理学基礎
HIST12	HIST109	歴史学　アメリカ史（1865年以後）
HUM11	HUM120	人文学　西洋文明
MATH45	MATH120	数学　数学基礎
MATH100(STAT100)	MATH100	数学　統計学基礎
MUS9	MUS110	芸術学　音楽

⑵ UTC 科目

省略記号	科目名
ARTH11	芸術史学　現代アート
COMM7	コミュニケーション学　パースエージョン
CFS38	家庭学　生涯設計・人生開発論
ECON40	経済学　ミクロ経済学基礎
ECON50	経済学　マクロ経済学基礎
ENGL20	英語学　文学基礎
HIST11	歴史学　アメリカ史（1865年以前）
LING6	言語学　リーディング＆ライティング中級
LING10	言語学　リングィスティックス基礎
PHIL25	哲学　論理的推論法
SOC1	社会学　社会学基礎

⑶ CCC 科目

省略記号	科目名
SPAN120	スペイン語

(4) 夏季特別講座

UTCは任意受講、CCCは必修科目

UTC	CCC	科目名
BIOL10（w. Lab.）	BIOL120（w. Lab.）	生物学　ライフサイエンス
PLSI2	POSC121	政治学　米国の政治と政治機構

3．履修規定（UTC・CCC 共通）

⑴ カリキュラムおよび単位移管科目や認定単位は提携大学のカリキュラム改訂の際に変更されることがある。

⑵ 再履修講座の履修には制限があり、不合格科目が全履修科目の25%を超える場合は、留学や2年次進級（コース変更も含む）、卒業に支障をきたす。再履修し合格した科目成績は「合格（P）」と表記される。合格とは、学院卒業単位を修得したという意味で、提携大学の移行単位とはならない。

⑶ 各学期の留学準備科目と大学単位認定科目、および単位の配分は、「履修科目、学期別単位配分」表P53～P55）を参照。

⑷ 大学単位認定科目は、科目により複数学期にまたがっているものがある。学期ごとの評価で不合格となり、単位が修得できない場合は、学期ごとあるいは学院が定める所定の時期に該当科目の再履修手続き（受講登録料別途必要）を行い再履修に合格することにより、学院の卒業要件単位のみ修得となる。再履修科目の単位は、提携大学移行単位とはならない。

⑸ 複数学期にまたがる科目は、最終学期の成績が単位移管される際の最終評価となる。

⑹ 学院在学中に修得した大学単位認定科目の単位は、学院と提携大学間の単位互換規定に基づき移行される。移管単位数や移管対象科目は、提携大学の編入時の規定および専攻により異なる。

4．夏季特別講座

⑴ UTC では 1 年生及び 2 年生とも、任意受講であり、受講希望者は別途定める受講料の納入が必要となる。

⑵ 学年に関わらず、夏季特別講座を受講しない UTC 学生は、同時期に実施される補講の受講が全員必修となる（受講料不要)。

⑶ CCC では、夏季特別講座は 1 年次の必修科目であるため、全員履修を必須とする。そのため 1 年次は夏季講座受講料の納入は不要とする。

(3-1) CCC 学生が、2 年次に UTC へコース変更する場合、学院規定として、1 年次に遡って UTC の規定が適用される事とする。そのため、1 年次に受講した夏季特別講座は任意受講扱いとなり、2 年次進級の際、授業料とは別に、夏季特別講座受講料の納入があらためて必要となる。

⑷ 夏季特別講座の実施科目及び受講料は毎年見直し、変更される。

5．留学（提携校編入）に関する規定

① 留学認定の要件

〔UTC〕

以下の要件を充たす者に対して、6学期からの正規留学を認める。

⑴　在学中の留学手続きの時点で学院提携校の編入要件を充たしている者。

⑵　5学期修了時点において学院の卒業要件を充たしている者。

〔CCC〕

以下の要件を充たす者に対して、1年次3学期修了時からの正規留学を認める。

⑴　3学期修了時点で学院規定及び提携CCの編入要件を充たしている者。

⑵　提携CC留学前に学院の定める2年次学費を一括納入した者。

⑶　留学期間中、提携CCでの履修単位として学院で定める上限単位（提携CC毎、あるいは年度ごとに別途規定し変更される場合がある）を学院が2年次学費内で負担し、これを超えて履修する授業（単位）料は別途学生個人の負担となることを承諾している者。

⑷　「8. 学期授業区分」に定める留学期間内でCCを卒業すること、学則により3年間を超えて学院へ在籍することはできないことを承諾している者。

⑸　留学期間中、自己都合による休学は、原則認められないことを承諾している者。

⑹　留学期間中、自己都合による授業実施期間中の途中帰国ならびに、UTCへの再編入は認められないことを承諾している者。

⑺　留学オリエンテーションおよび留学科保護者説明会で配布され説明を受けるCCコースの留学科諸規定について承諾している者。

② 提携校について

〔UTC・CCC共通〕

⑴　提携校とは

現地大学との協議に基づくもので、学院年度内でも提携要件の変更、提携大学の追加および提携の廃止等が行われる場合がある。

⑵　単位互換とは

大学単位認定科目（および任意で受講する夏季特別講座科目）の成績は原則として各科目の最終評価A～Dまでが単位移管の対象となる。提携大学および各大学の専攻・学科によって卒業必修単位として認定される科目と単位数は異なる。

⑶　留学／編入時期

各大学との提携要件ならびに現地大学のアカデミックカレンダーに基づき、入学可能な時期が決定される。

⑷　提携大学の編入学要件・基準

入学基準は現地大学のアカデミックカレンダー（年度）に基づき改訂されることがあり、学院総合案内や留学科のパンフレット等の情報とは異なる場合がある。編入要件や入学基準は、留学申請時に提携大学から提示される要件や基準が最新且つ、優先されるものとする。

6．夏季・冬季期間中の語学研修

〔UTC〕

⑴ 夏季　語学研修

1学期の成績に不合格がない場合、学院年間スケジュールの「夏季休暇期間内」における、個人での語学研修または学院主催の語学研修参加を認める。

⑵ 冬季　語学研修

1、2学期の成績に不合格がない場合、3学期に学院主催の語学研修参加を認める。ただし、次の要件にもとづく。

2-1）複数学期にまたがって授業が実施される科目については、2学期までの成績がC以上である事。また留学中に継続して実施される科目については、語学研修を適正に終了した場合には「合格」とし、学院卒業要件単位として認めるが、留学に際しては提携大学への移管単位としては認められないことを承諾していること。

2-2）3学期のみ実施される科目については、語学研修を適正に終了した場合には「合格」とし、学院卒業要件単位として認めるが、留学に際しては提携大学への移管単位とは認められないことを承諾していること。

2-3）語学研修の適正な修了要件は、学院の語学研修規則に準じる。

〔CCC〕

⑴　夏季　語学研修

1学期および夏季特別講座（必修）の成績に不合格がない場合、学院年間スケジュールの「夏季休暇期間内」における、個人での語学研修または、学院主催の語学研修参加を認める。

⑵　冬季　語学研修

個人および学院主催の語学研修の参加はいずれも認めない。

7．進級・卒業に関する規定

①　進級

〔UTC・CCC共通〕

1年次に年2回、TOEICを受験している事。

〔UTC〕

1年次3学期間で修得する全課程単位の75％を修得していれば2年次への進級を認め

る。但し、進級とは2年次クラスに編成するということであり、必ずしも1年次で修得すべき全単位を修得したことを意味するわけではない。

〔CCC〕

留学認定者は「5．留学（提携校編入）に関する規定」に準ずる。

コース変更者は、UTCの進級規定に準ずる。

② 卒業

下記の要件を充たした者には、専修学校専門課程の卒業資格を認め、「専門士」の称号を授与する。

〔UTC〕

⑴ 「留学準備科目」

「留学準備科目」の全単位を学則で定められた修業年限内に修得した者。

⑵「大学単位認定科目」

「大学単位認定科目」の全単位を学則で定められた修業年限内に修得した者。

〔CCC〕

(1)「留学準備科目」

「留学準備科目」の全単位を学則で定められた修業年限内に修得した者。

(2)「大学単位認定科目」

「大学単位認定科目」の全単位を学則で定められた修業年限内に修得した者。

(3) 学院からの「専門士」の授与

学院に在籍しつつ、学則で定められた留学年限内（「8. 学期授業区分〔CCC〕参照）に提携CCを卒業し、または卒業要件を充たした上で所定の手続きをとった者。

(4) 2年次に UTC に編入した場合は、UTC の卒業要件に準ずる。

8．学期授業区分

〔UTC〕

1年生	1学期	4月19日～7月9日
	必修補講または夏季講座（任意受講）7月12日～7月30日	
	2学期	8月30日～12月3日（特別補講　12月6日～13日）
	3学期	1月7日～2月25日（特別補講　3月7日～25日）

2年生	4学期	4月19日～7月9日
	必修補講または夏季講座（任意受講）7月12日～7月30日	
	5学期	8月30日～12月3日（特別補講　12月6日～13日）
	6学期	1月7日～2月25日
※6学期：特別補講		

５学期修了時の卒業見込判定において
・出席率（４～５学期間）75%未満（総授業時間に対し）
・落第科目３科目以上のいずれかに相当する場合は、理由のいかんを問わず６学期の特別補講に出席し、卒業規定を充たさなければならない。
（※特別補講の履修詳細は別途定める。）

〔CCC〕

1年生 (2020年)	１学期	4月13日～7月3日
	夏季講座	7月6日～7月24日
	２学期	8月31日～12月4日
	３学期	1月7日～2月26日

2年生	提携CC留学生	編入時期は、留学の決定した提携CCの年間カレンダーに基づき、直近で入学が認められる学期（時期）からとする。個人の都合でこれを変更（前倒し、延期）することは認めない。 編入後の現地大学在籍期間は3学期修了時～最長で翌年12月までとする
	UTCコース変更生	UTC2年生のカレンダーに準ずる

９．その他の学院諸規定

⑴ 出欠席について　他学科同様（Ｐ5―〔３〕参照）
⑵ 休学の手続き　　他学科同様（Ｐ20―４参照）
⑶ 復学の手続き　　他学科同様（Ｐ20―５参照）
⑷ 退学の手続き　　他学科同様（Ｐ20―６参照）
⑸ 卒業見込証明書の発行

〔UTC〕

４学期以降、卒業見込証明書申請時点で、留学準備科目・大学単位認定科目の合計で原則25%にあたる単位又はそれ以上の遅れ（不足）がない場合。

〔CCC（留学者対象）〕

① 提携CCにおいて、提携CCの専攻必修単位をおよび卒業必修単位を修得し、所定の卒業基準を満たしている事。
② 学院からの移管単位と上記①の合計が所定の卒業必修単位を越えている事、
③ 学院の定める「留学認定期間」中である事、あるいは条件を充たした時点で可能となる事。

④　上記①~③を証する提携CCのオフィシャル・レコード（履修、修得単位一覧）またはそれに準ずる書面等を提出する事。

注意：UTC・CCC ともに、上記の要件を充たしていても、進行中の学期において、欠席過多等の理由によりすでに不合格となっている科目がある場合や、学期修了を待たずに25%にあたる単位又はそれ以上の遅れが確定している場合には、卒業見込証明書は発行されない。

※学院諸規則に定めのない事項、あるいは他学科と異なる事項は、留学科諸規則が優先する。

留学科・3年次編入コース（2年生/24期・2020年度生）

科		履修学期	1年次				2年次			合計	大学移行単位
			1学期	2学期	*1 3学期	小計	4学期	5学期	小計		
Ⅰ 留学準備科目	NTG		2	3	1.5	6.5				6.5	
	RVD		2	2	1.5	5.5		3	3	8.5	
	TFL		4	4	2.5	10.5	4	2	6	16.5	
	CG				1	1				1	
	ORT		1	2	1	4	2	1	3	7	
小計			9	11	7.5	27.5	6	6	12	39.5	
Ⅱ 大学単位認定科目	ARTH 11						3	3	6	6	3
	CFS 38						5		5	5	3
	COMM 3			5		5				5	3
	COMM 7							5	5	5	3
	CSCI 5		3	3		6				6	3
	ECON 40				2.5	2.5				2.5	3
	ECON 50						3	3	6	6	3
	EES 1 (w. Lab.)		3	3		6				6	4
	ENGL 10		4	2	2	8				8	3
	ENGL 20						3	3	6	6	4
	GEOG 2		5			5				5	3
	HIST 11		2	3		5				5	3
	HIST 12				3	3				3	3
	HUM 11			5		5				5	3
	LING 6						5	5	10	10	3
	LING 10							5	5	5	3
	MATH 45		3	3		6				6	3
	MATH 100				3	3				3	3
	MUS 9		5			5				5	3
	PHIL 25						5		5	5	3
	SOC 1						3	3	6	6	3
小計			25	24	10.5	59.5	27	27	54	113.5	65
合計			34	35	18	87	33	33	66	153	65

注）*1 3学期の実学習時間は、表中の履修単位数の倍数となります。（例）ENGL 10　2×2＝4時間分

留学科・3年次編入コース（1年生/25期・2021年度生）

科		履修学期	1年次				2年次			合計	大学移行単位
			1学期	2学期	*1 3学期	小計	4学期	5学期	小計		
Ⅰ	留学準備科目	NTG	2	3	1.5	6.5				6.5	
		RVD	2	2	1.5	5.5		3	3	8.5	
		TFL	4	4	2.5	10.5	4	2	6	16.5	
		CG			1	1				1	
		ORT	1	2	1	4	2	1	3	7	
小計			9	11	7.5	27.5	6	6	12	39.5	
Ⅱ	大学単位認定科目	ARTH 11					3	3	6	6	3
		CFS 38					5		5	5	3
		COMM 3		5		5				5	3
		COMM 7						5	5	5	3
		CSCI 5	3	3		6				6	3
		ECON 40			2.5	2.5				2.5	3
		ECON 50					3	3	6	6	3
		EES 1 (w. Lab.)	3	3		6				6	4
		ENGL 10	4	2	2	8				8	3
		ENGL 20					3	3	6	6	4
		GEOG 2	5			5				5	3
		HIST 11	2	3		5				5	3
		HIST 12			3	3				3	3
		HUM 11		5		5				5	3
		LING 6					5	5	10	10	3
		LING 10						5	5	5	3
		MATH 45	3	3		6				6	3
		MATH 100（STAT100）			3	3				3	3
		MUS 9	5			5				5	3
		PHIL 25					5		5	5	3
		SOC 1					3	3	6	6	3
小計			25	24	10.5	59.5	27	27	54	113.5	65
合計			34	35	18	87	33	33	66	153	65

注）*1 3学期の実学習時間は、表中の履修単位数の倍数となります。（例）ENGL 10　2×2＝4時間分

留学科・コミュニティカレッジコース（13期・2020年度生）

科目名 ＼ 履修学期		1年次 1学期	1年次 夏季講座	1年次 2学期	1年次 *1 3学期	合計	CC移行単位
Ⅰ留学準備科目	NTG	2		3	1.5	6.5	
	RVD	2		2	1.5	5.5	
	TFL	4		4	2.5	10.5	
	CG				1	1	
	ORT	1		2	1	4	
小計		9		11	7.5	27.5	
Ⅱ大学単位認定科目	COMM 122			5		5	3
	CSCI 110	3		3		6	3
	ECON 121				2.5	2.5	3
	ENGL 120	4		2	2	8	3
	GEOG 130	5				5	3
	GEOL 110/111	3		3		6	4
	HIST 109				3	3	3
	HUM 120			5		5	3
	MATH 100				3	3	3
	MATH 120	3		3		6	3
	MUS 110	5				5	3
	SPAN 120	2		3		5	5
	* BIOL 120 (w. Lab.)		5			5	3
	* POSC 121		5			5	3
小計		25	10	24	10.5	69.5	(40～45) *2
合計		34	10	35	18	97	(40～45) *2

注）1* 3学期の実学習時間は表中の履修単位数の倍数となります。
（例）ENGL120 2×2＝4時間分

注）2* 提携CCへの移行単位は、大学および現地での専攻学科により異なります。

2年次

提携CCの卒業規定に基づき、必要な科目を履修して卒業単位を修得。
（卒業単位は専攻によって異なる）

提携CCで修得した単位の一部は所定の手続きを経て、以下の7科目に振り分けられ、学院の単位として認定されます。

1 リーディング＆ボキャブラリー
2 アイディアズ＆オピニオンズ
3 アクティブ・ディスカッション
4 異文化コミュニケーション
5 スタディガイド＆リサーチ1、2
6 一般教養科目（2科目）
7 その他の専攻科目

英語基礎養成科

年間スケジュール

※ スケジュールは変更されることがあります。変更の際には「KIFL Info-web」及び「学院カレンダー」でお知らせします。
（学院カレンダーをスマートフォンや iPad にインストールしてください）

4 月	9 日（水）	新入生オリエンテーション
	12 日（月）	入学式・保護者会
	15 日（木）もしくは 16 日（金）1 年生健康診断・教材配布（後日案内あり）	
	19 日（月）	1 学期授業開始
	29 日（木）～5 月 6 日（水）ゴールデンウィーク休み	
5 月	7 日（金）もしくは 8 日（土）第 1 回学内 TOEIC （学科別全員受験・後日案内あり・通常授業休講）	
7 月	15 日（木）もしくは 17 日（土）第 2 回学内 TOEIC （学科別全員受験・後日案内あり・通常授業休講）	
	22 日（木）	海の日　特別授業日
	23 日（金）	スポーツの日　特別授業日
	30 日（金）	1 学期最終授業日
	31 日（月）	2 学期授業開始
8 月	5 日（木）成績確認日（後日案内あり）	
	7 日（土）夏季再履修登録日（後日案内あり）	
	6 日（金）～29 日（日）夏季休暇	
	30 日（月）	2 学期授業開始
9 月	23 日（木）	秋分の日　特別授業日
11 月	3 日（水）	文化の日　特別授業日
	12 日（金）	学園祭（午前：通常授業・午後：休講） ※中止の場合は通常授業（後日案内あり）
	23 日（火）	勤労感謝の日　特別授業日
12 月	1 日（水）・16 日（木）第 3 回学内 TOEIC（後日案内あり・通常授業休講）	
	13 日（月）	2 学期最終授業日
	20 日（月）～23 日（木）成績確認日（後日案内あり）	
	24 日（金）・25 日（土）再履修講座登録・3 学期選択科目最終登録 （学科学年別・後日案内あり）	
	27 日（月）～1 月 6 日（木）冬季休暇	

1 月	7 日（金）	3 学期授業開始
2 月	23 日（水）	天皇誕生日　特別授業日
3 月	7 日（月）	3 学期最終授業日
	14 日（月）	卒業判定発表（後日案内あり）
	22 日（火）	卒業式・卒業パーティー　※日程が変更になる場合があります。
	23 日（水）	卒業式・卒業パーティー　※日程が変更になる場合があります。

※ 学内 TOEIC（全員受験）を未受験の場合には進級・卒業が認定されません。
※ 任意受験の学内 TOEIC、及び学内で受験申込のできる検定試験の予定は、本館 2 階掲示板及び KIFL Info-web にて後日発表。

英語基礎養成科　教務関係諸制度

〔1〕学科目

1．英語基礎養成科の学科目は専門科目のみで構成されています。 1 学期 32 単位、 2 学期 32 単位、 3 学期 14 単位を修得。

2．時間割の構成

a）総　説

各人の授業時間割は全て専門科目で構成されています。

b）学期授業日、及び単位修得区分

① 学期授業日

1 学期：4月19日～7月30日

2 学期：8月30日～12月13日

3 学期：1月7日～3月7日

② 単位修得区分

昼間部専門課程の英語基礎養成科を卒業するためには、英語基礎養成科単位修得区分の表に従い、最低必要な78単位を履修合格しなければなりません。

〔2〕単位の見方

1．学期、単位、授業時間、授業形態

1 年間は 1 学期・2 学期・3 学期に分かれます。1・2 学期は原則として各 16 週で 1 学期、3 学期は 8 週で 1 学期、合計 40 週で 1 学年としています。

卒業に必要な単位は78単位です。 1 単位は、45分の授業を週 1 回、 1 学期間受講し合格した場合、修得できます。

多くの科目で、学期毎に２単位となっていますが、この場合２授業時間〔90分＝45分×２、途中５分間の休憩〕の授業を週１回、１学期間受講することになります。したがって、４単位の科目では２授業時間の授業を週２回となります。

但し、３学期は、１・２学期より短い期間で行われますので、２単位の科目の場合、２授業時間を週２回受講することになります。

授業は講義形式ではなく、トレーニングを中心とした実践力を養うための実習や演習形式で行われます。一部講義科目の扱いを受けるものもあります。

２．専門科目

専門科目の卒業要件単位はすべて３学期終了時までに修得しなければなりません。上記の通り、各学期で単位が認定されますが、不合格となり単位が修得できない場合は、再履修し、不足単位を補うことになります。

〔３〕成績について

出席時間数・授業態度・テスト・レポート等で判断されます。それぞれの科目が合格になるためには、各教科の成績で合格し、さらに出席時間数でも基準を満たしていなければなりません。

評　価	点　数	成績証明書
合格―A	90～100 点	「秀」と表示
合格―B	80～89 点	「優」と表示
合格―C	70～79 点	「良」と表示
合格―D	60～69 点	「可」と表示
合格―P	――	「合」と表示
不合格―F	59 点以下	不合格科目名は表示しない

〔４〕再履修（重要）

各学期に不合格となった科目は、各学期終了後に行われる再履修講座、又は課題提出で不足分を補わなければなりません。（再履修登録料別途必要）再履修についての詳しい内容は、本館２階掲示板やKIFL Info-web等で通知します。

〔5〕卒業に関する規定

指定された専門科目を在籍１年以内で修了した者に１年制専門課程の卒業を認めます。

〔6〕卒業見込証明書の発行

卒業見込証明書申請時点で卒業要件単位数〔「単位修得区分」による〕基礎養成科単位習修得区分に対して、合計で７単位以上の遅れ（単位不足）がない場合。

注意：上記の要件を充たしていても、進行中の学期で欠席過多等の理由により既に不合格となっている科目があり、学期終了後を待たずに７単位以上の遅れ（単位不足）が確定している場合には卒業見込証明書は発行されません。

卒業見込証明書は就職活動等の際に必要な書類となります。

〔7〕学院英語専攻科２年次への編入に関する規定

成績優秀で別に定める要件を充たした者に対して、学院英語専攻科２年次への編入が許可されます。詳細は１学期終了時までに教務部に問い合わせること。

英語基礎養成科					
科目名 ＼ 履修学年・学期		1年次			単位
		1学期	2学期	3学期	
専門科目	基礎英会話 A	4	4	2	10
	基礎英会話 B	4	4	2	10
	読解・語彙演習	4	4	2	10
	文法・作文演習	4	4	2	10
	リスニング演習	4	4	2	10
	実用英語技能検定対策講座	2	2	1	5
	日本語コミュニケーション	2	2		4
	学習カウンセリング(HR)	2	2	1	5
	VISTA(個別自立学習)	2	2		4
	基本表現演習	2	2	1	5
	発音クリニック	2	2	1	5
合計		32	32	14	78

３．本館１階窓口 事務案内

〔１〕受付時間

月曜日～金曜日　9：00～18：00（土曜・日曜・祝日は閉局）

〔２〕各種届出

① 遅延申請書
② 公欠届
③ 退学届（退学希望については担任と面談すること）
④ 住所・氏名変更届（学籍簿及び学生証に、正規に住所改訂がされていないと、不利益を受けることがあります）
⑤ 教室使用願・掲示許可願

〔３〕各種証明書

証明書種類	手数料
在学証明書	200円
通学証明書	200円
学生証再発行	500円
成績証明書	300円
卒業見込証明書・卒業証明書	200円
総授業時間数証明書	200円
単位履修見込証明書	300円
専門士取得見込証明書（大学編入書類の証紙を購入）	200円
大学編入用所定用紙（大学編入書類の証紙を購入）	200円
※各証明書の発行は、申込日（受付時間内）の翌々日となります。（土・日・祝日を除く）申込日当日の即日発行は出来ません。また、保管期間は発行日より３ヶ月間です。	

〔４〕通学定期券購入について

本学院生は、ＪＲ・私鉄・都電・都バス・市営バス等の学生割引定期券を購入することができます。通学定期券購入の際は、駅で学生証を提示して下さい。（所定欄に住所・通学区間を記入しておくこと。）

又、購入する駅によっては通学証明書の提出も求められる場合があります。

〔５〕ＪＲ学割申込みについて

ＪＲ学生割引証明書交付希望者は、所定の申請用紙に記入の上、学生証を添えて本館１

階学生支援部（学生支援チーム）に提出して下さい。発行は、申込日（受付時間内）の翌々日となります。（土・日・祝日を除く）申込日当日の即日発行は出来ません。また、有効期限は発行日より３ヶ月間です。

4. その他規則

〔1〕不正行為取扱規則

この規則は、公正な成績評価を保持するために、期末試験等における不正行為を防止することを目的とします。

以下の何れかに該当する行為をした者は、当該学期の全科目の成績評価を無効とします。

① 他の受験生の答案を故意にのぞき見し、または書き写した者
② 紙片、筆記用具、机等にあらかじめ書きこみをした者
③ 持込の許可をうけない書籍（辞典等を含む）、ノートを使用した者
④ 携帯電話等の通信手段を利用し、不正行為を行った者
⑤ 配付された答案用紙以外の答案用紙を用いた者
⑥ 答案用紙をすり替えた者、及びそれを行なわせた者
⑦ 本人に代わって受験、課題作成等を行った者、及びそれを行なわせた者
⑧ その他の不正と疑われるような不審な行為を行った者
⑨ 試験場において答案を見せ、もしくは口伝えし、または不正行為に使用されることを知りながら、メモを貸与する等の行為を行った者
⑩ 宿題や課題を他人のものを写したり、見せたりした場合
⑪ 書籍、雑誌、インターネット等からコピー＆ペースト盗用を行った者

なお、定期試験以外の試験（クイズ・小テスト・単語テスト等）や課題等提出物についてもこの規則を準用します。

〔2〕懲 戒

次の各号に該当する者に対して学院長は、除籍又はその他の処分を命ずることが出来ます。

① 学院の規則に違反し、秩序を乱し、学院の指示に従わない者
② 正当な理由なく、無届欠席が連続して15日以上に及んでいる者
③ 勉学意欲に欠け、卒業の見込みがないと認められる者
④ 素行不良で、改善の見込みがないと認められる者
⑤ 学院コンピュータ上にてインターネット利用の際、教育上不適切なサイトにアクセスしていると認められる者
⑥ ハラスメントに該当する行為を行った者

5. 図書利用に関する手引

＜ VISTA SILC（Success Independence Learning Center）＞

3号館6階

※ VISTA ACT（Action Communication Training）の利用については別に配付します。

〔1〕開館日時

3号館6階のVISTA SILC は図書館と自習室としての機能を有しており、開館時間は以下の通りです。

月～金曜　9：00～20：00／土曜　10：00～17：00(※ 日曜・祝日は休館)

〔2〕館内閲覧

本学院生は、SILC 所蔵図書を閲覧することができます。

〔3〕館外貸出し（※ 返却期間は厳守のこと）

① 冊数は、原則として3冊まで、期間は2週間以内に限ります。
（Graded Reader Bookは、1ヶ月）※ 一部貸出不可

② 貸出し希望者は、インフォメーションカウンターにて、貸出手続をして下さい。

〔4〕館内規律

入館者は、下記の事項を守って下さい。

① 静粛を保つこと。（日本語禁止）
② 飲食・電話使用しないこと。
③ 図書、器具、壁、床その他の設備を汚損しないこと。
④ 机、椅子、その他の備品の位置をみだりに変更しないこと。

〔5〕罰　則

① 閲覧または貸出の図書を紛失または汚損した場合、同一図書の代納、修理、又、事情によっては代価により弁償して頂きます。
② 館内の規律を乱す行為や、係員の指示に従わない場合、退室を命じ、SILC の利用を停止いたします。
③ 期日までに図書を返却しないで卒業の時期を迎えた場合は、実費を支払って頂きます。返却、または支払いが無い場合は卒業が認められない場合があります。

6. 就職相談

＜キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）＞

神田外語本部ビル２階

〔1〕開館時間

月～金曜　10：00～18：00（※ 土曜・日曜・祝日は休館）

〔2〕キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）紹介

《就職相談について》

就職に関する相談、カウンセリングを行っています。また様々な「就職ガイダンス」や「会社説明会」を学内で行い、就職活動の進め方や各種書類の書き方等を説明し、企業の求人情報を提供しています。キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）内には会社案内や求人票、先輩の就職活動報告書等の資料がファイル、整理されており、常時自由に閲覧できます。また、パソコンも利用でき、Ｅメールによる情報配信も行っています。これらにより、求人や、ガイダンスなどの情報を収集することができます。

《１年１～２学期キャリアガイダンス》

このガイダンスでは就職環境や就職状況の説明、また就職活動の仕方や就職活動の流れについて概要を説明します。

《１年冬季就職ガイダンス》

３学期の選択科目（但し、就職希望者必修）のなかで、就職準備に関わる内容、自己分析、自己ＰＲ文、エントリーシートや履歴書の書き方、面接試験や筆記試験、企業採用情報の収集方法等について学びます。

《１年就勝祭》

3学期終了時に、終日、就職関連のイベントを実施します。内容は、卒業生との懇談会、各種講演などです。この行事で最後の総仕上げをすることにより、万全の態勢で採用試験に臨めるようになります。

《２年春季就職ガイダンス》

２年次４月以降も、必要に応じて授業時間外を利用して実施します。この時期は就職活動がすでに始まっている時期です。従って就職試験直前に知っておかなければいけない情報、就職活動に関わる内容の再確認をします。

《年間スケジュール》

1年生	4月～7月	キャリアガイダンス開始

	11月	職業適性能力試験（SPI に準拠）
		内定者懇談会
		ファッション講座・メークアップ講座
	1月	就職総合対策講座開講（３学期）
		学内企業説明会
	3月	就勝祭
2年生	4月～	各種就職ガイダンス

〔3〕キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）から

① １年次のガイダンスで「進路登録カード」（電子版）について説明します。進路を問わず必ず入力しなければなりません。

② 会社訪問、就職試験による欠席（公欠）は次のように扱います。

1「進路登録カード」の未提出者は公欠が認められません。

2 公欠扱いとされるには、キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）で事前（前日まで）に「出席証明書」に学校許可印をもらい、その許可印のある用紙を企業に持参し、ゴム印等による社判を得、訪問日より１週間以内に社判のある「出席証明書」を本館１階窓口に提出して下さい。

③ 企業・公務員等への就職内定が決まった場合は早急に「内定報告書」をキャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）に届け出て下さい。

〔4〕進路を決定するためには

１．就職、進学、留学等、どの進路を選択する場合でも、方向性を早めに決めて事前準備を周到に行うことが決定への近道です。遅くとも１年次夏頃までに各自の方向性を決定できるようにしましょう。

２．求人票などの就職情報は日々新しいものが入ります。キャリア教育センター／学生支援部（就職支援チーム）を有効に活用し就職活動に活かして下さい。

〔5〕証明書発行についての注意

１．卒業見込証明書の発行保留について

以下の場合、卒業見込証明書の発行は保留になります。

① 証明書発行時に必要な単位を修得していない場合。詳細はＰ19をご参照下さい

② 但し、必要単位を修得しても、出席率が著しく不良で、履修中科目単位修得の見込がないと判断される場合。

（注）卒業見込証明書がないと、ほとんどの企業は受験することができないので注意して下さい。

7. 進学相談

＜大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）＞

神田外語本部ビル５階

学院から編入学の可能な大学の情報や、過去問題が閲覧できます。志望校の相談は、専門の講師の個人指導（要予約）が利用できます。簡単な質問についても、気軽に職員に声を掛けて下さい。

〔１〕開館時間

月～金曜　9：00～18：30（※ 土曜・日曜・祝日は休館）

〔２〕講師による個人指導

通常授業の行われる日は11：00～18：30に、編入学担当の講師から英語試験・各分野専門試験・小論文等についての個人指導を受けることができます。事前の予約が必要となりますが、予約はKIFL Info-webから簡単に取れます。１回あたりの相談時間は30分。夏休み・学期末の登校日についても、相談できる日を設けています。

〔３〕図書閲覧

① 学院生は、大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）所蔵図書を閲覧することができます。館外貸出については、以下の事項を守ってください。
冊数は、２冊まで。期限は１週間以内。返却期限は厳守してください。※一部貸出不可

② 貸出希望者は、受付で学生証を提示し、貸出手続きを行ってください。

《罰則》

① 閲覧または貸出の図書を紛失、もしくは汚損した場合、同一図書の代納、修理、事情によっては弁償して頂きます。

② 館内の規律を乱す行為や、職員の指示に従わない場合は退室を命じます。

③ 期日までに図書を返却しないで卒業の時期を迎えた場合は、実費を支払って頂きます。返却、または支払いがない場合は卒業が認められない場合があります。

〔４〕公欠と合格報告

① 大学編入学試験・一般入学試験・編入学事前研修による欠席（公欠）は、次のように扱います。

・原則として、２年生もしくは１年制課程学生が対象となります。

・大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）で前日までに「出席証明書」に学院許可印を受けて大学に持参し、ゴム印等による大学印を受けて下さい。訪問日より１週間以内に大学印のある「出席証明書」を、本館１階窓口に提出が必要です。

・受験のために前泊が必要な場合でも、前日の最終授業に出席してからの到着が可能であれば公欠になりません。前日の到着が困難な場合は、必ず大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）で事前承認を受けてください。

② 合格が確認できた場合は、ただちに「合格届」を大学編入センター／学生支援部（編入学支援チーム）へ提出することが義務となります。（KIFL Info-web からの報告も可能です。）

≪年間スケジュール≫

1 年次	1 学期	編入学説明会　神田外語大学編入学説明会
		夏期講座
	2 学期	第 1 期編入課程講座（各種有料講座）
		神田外語大学第 2 期推薦入学学内選抜試験
	3 学期	第 2 期編入課程講座（各種有料講座）
		編入学対策講座（自由選択科目）
		春期講座
2 年次	1 学期	第 3 期編入課程講座（各種有料講座）
		神田外語大学第 1 期推薦編入学学内選抜試験
		夏期講座
	2 学期	神田外語大学第 2 期推薦編入学学内選抜試験

※最新情報は、manaba で常時確認して下さい。

8. 留学相談

＜留学センター＞

神田外語本部ビル５階

〔1〕開館時間

月～金曜　9：00～18：00（※ 土曜・日曜・祝日は休館）

〔2〕留学センター紹介

① 在学中の語学研修

学院の休暇期間中（夏、春）の語学研修、その他様々な短期語学研修について、カウンセリングやアドバイス、手続きのサポートを行っています。休暇期間中の語学研修参加者に向けて、渡航前の留学説明会等も実施しています。

② 卒業後の正規留学（その他の留学）

学院卒業後に、語学研修や正規留学を希望する学生のカウンセリングやアドバイス、各種手続きのサポートを行っています。

《留学センターの利用について》

① 個人留学の際の届け出義務

本学院生は、在学中に個人で海外や研修等へいく場合は、あらかじめ留学センターへの届け出と、学院で指定する包括保険への加入が義務となっています。

② 学則等の遵守

在学中の語学研修、卒業後の留学には、休暇前や卒業前に、成績に不可がないか等、学生自身がきちんと確認し、学則に則って渡航することが義務づけられています。

③ 留学カウンセリング

個人留学について、詳しくは、留学センター主催の説明会、あるいは個別のカウンセリングの際に確認して下さい。個別カウンセリングは、原則、予約制です。カウンセリングの予約はKIFL Info-webから、または学院本館１階窓口や、留学センター前に備え付けのカウンセリング予約フォームに必要事項を記入し、留学センターまで提出して下さい。

校舎案内図

本館	教室（1-101～1-610）、講堂、アセンブリーホール（1-B01AB）、Visitors' Plaza、教務部、学生支援部、総務部、第7教授室・第8教授室
2号館	学生ラウンジ、第3教授室・第5教授室・第14教授室
3号館	教室（3-201～3-504）、VISTA-ACT、VISTA-SILC、アズール Plaza Azul（3-701AB）、ECL
4号館	Culture & Food Kitchen、研修室（4-201～4-501）
5号館	事務室
6号館	教室（6-101～6-501）、学生ラウンジ
7号館	学生ラウンジ、第16教授室・第17教授室・第18教授室・第19教授室、多目的室（7-401）
8号館	産学官連携施設
本部ビル	Move 多言語センター、キャリア教育センター、総務部（デジタル戦略チーム）、セミナールーム（本部-101・201・501）、学生相談室、医務室、大学編入センター、留学センター
9号館	教室（9-101～9-402）
10号館	教室（10-101～10-401）

教室案内図

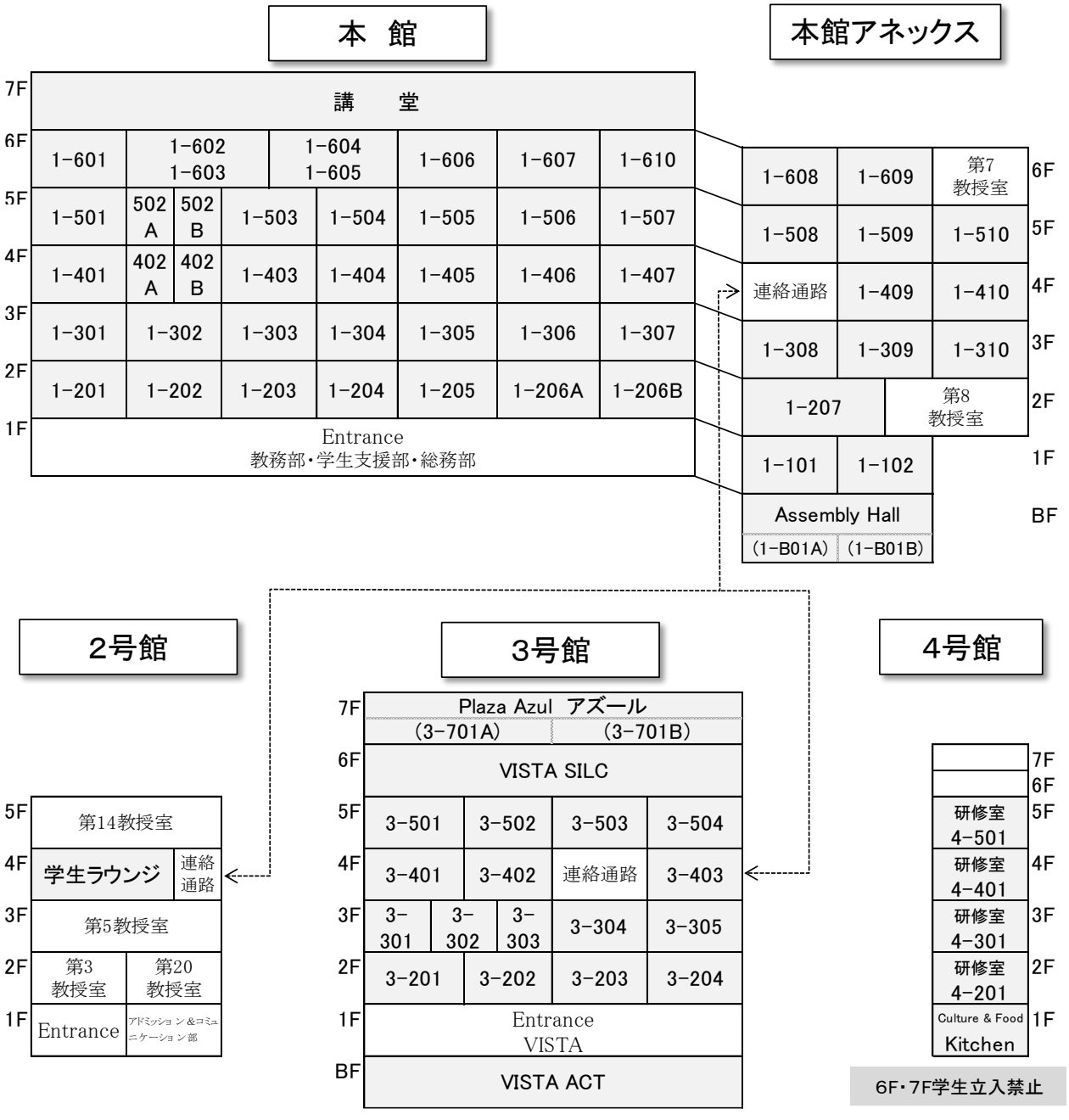
◆教室番号の読み方は右の通りです。

注意：本部-101・201・501⇒本部ビルにあります。
3-701A・B＝アズール　1-B01A・B＝Assembly Hall

3－503
号棟　階　室番

◆4号館6階・7階、7号館5階・6階、本部ビル3階・6階・7階は立入禁止です。

◆本部ビルの教室（本部-201・501）および各センターへは、連絡通路を通って本館から入室してください。



教室案内図

6号館

5F	6-501		
4F	6-401	ラウンジ	6-402
3F	6-301	ラウンジ	6-302
2F	6-201	ラウンジ	6-202
1F	6-101	ラウンジ	6-201

7号館

6F		
5F	神田外語大学 大学院	神田外語大学 大学院
4F	多目的室 7-401	神田外語大学 大学院
3F	第18 教授室	第19 教授室
2F	第16 教授室	第17 教授室
1F	学生ラウンジ	学生ラウンジ

5F・6F学生立入禁止

本部ビル

			7F
			6F
連絡通路	編入センター 留学センター	本部-501	5F
	医務室	学生相談室	4F
			3F
連絡通路	キャリア教育センター 総務部デジタル戦略	本部-201 セミナールーム	2F
	MOVE 多言語センター	本部-101	1F

3F・6F・7F学生立入禁止

8号館

授業用教室はありません

3F	産学官連携研修室
2F	産学官連携研修室
1F	産学官連携研修室

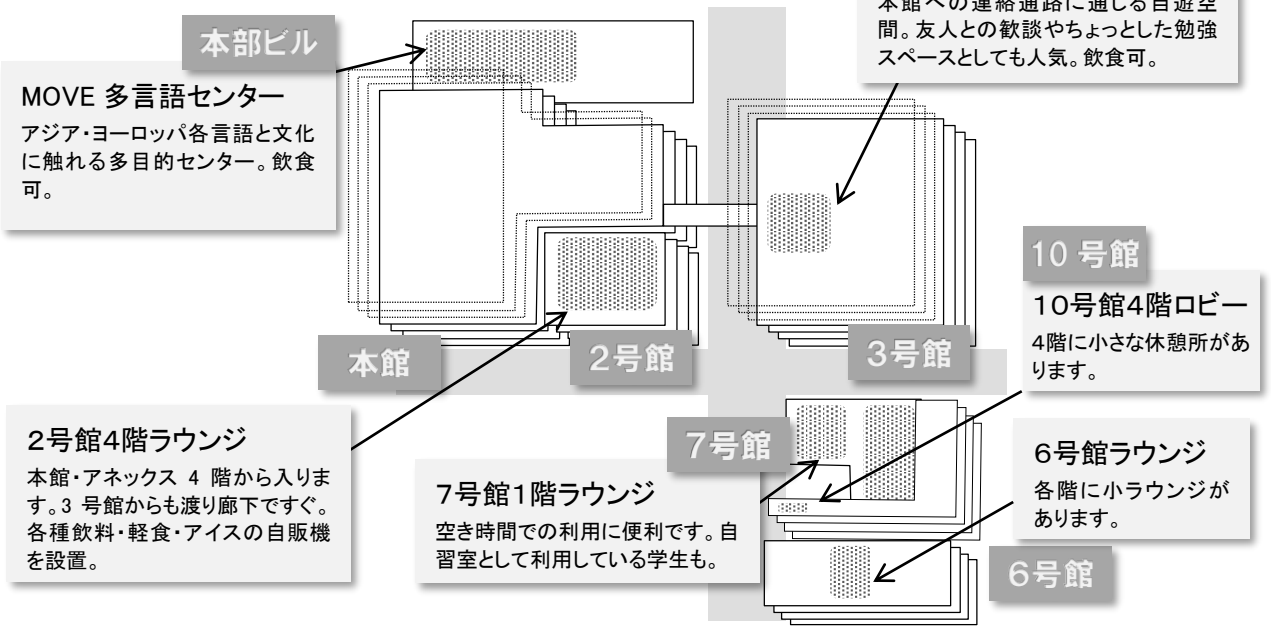
9号館

4F	9-401	9-402
3F	9-301	9-302
2F	9-201	9-202
1F	9-101	9-102

10号館

4F	10-401	
3F	10-301	10-302
2F	10-201	10-202
1F	10-101	10-102

学生ラウンジ案内図



各種検定・資格試験について

※各検定試験の日程等はホームページで確認してください。

実用英語技能検定	（財）日本英語検定協会 http://www.eiken.or.jp/
小学生から社会人まで幅広い人を対象とした英語検定試験です。「読む」「書く」「聞く」「話す」の技能を総合的に測るもので、１級・準１級・２級・準２級・３級・４級・５級の７ランクに分かれます。文部科学省後援の試験です。	

秘書技能検定	（財）実務技能検定協会 http://www.kentei.or.jp/
秘書技能とは、職場で必要とされるあらゆる職務技能試験を一言で表現したものです。試験は１級・準１級・２級・３級のレベルに分かれ、年３回（６月・11月・２月）に行われます。文部科学省後援の試験です。	

ビジネス能力検定ジョブパス　CBT	（財）職業教育・キャリア教育財団 http://www.sgec.or.jp/index_new.cgi
社会人に必要な仕事の能力を評価する試験です。業種・業界に関わらず、仕事に必要な基本的な知識が問われます。就職希望者は１年次に３級を、２年次に２級を受験するのが適当です。文部科学省後援の試験です。	

観光英語検定	全国語学ビジネス観光教育協会 http://www.zgb.gr.jp/
観光・旅行関係の分野を通して、外国人とのコミュニケーションを図ることを目的とした、英語運用能力試験です。１級・２級・３級のレベルに分かれ、毎年２回実施されます。	

全国通訳案内士試験	日本政府観光局（JNTO） http://www.jnto.go.jp/jpn/
毎年８～12月に筆記試験と口述試験が実施されます。この試験においては、語学能力はもちろん通訳ガイドとして必要な、経済・地理・歴史・文化等の幅広い知識が要求されます。国家試験です。	

総合旅行業務取扱管理者試験	（社）日本旅行業協会 http://www.jata-net.or.jp/
旅行業務取扱管理者には『総合旅行業務取扱管理者』と『国内旅行業務取扱管理者』の２種類あり、総合は国内旅行と海外旅行、両方を取り扱う事ができます。旅行業者の業務に必要な知識と能力について行われる国家試験です。	

国内旅行業務取扱管理者試験	（財）全国旅行業協会 http://www.anta.or.jp/
旅行業務取扱管理者には『総合旅行業務取扱管理者』と『国内旅行業務取扱管理者』の２種類あり、国内は国内旅行のみを取り扱う事ができます。旅行業者の業務に必要な知識と能力について行われる国家試験です。	

TOEIC	（財）国際ビジネスコミュニケーション協会 http://www.toeic.or.jp/iibc.html
身近な内容からビジネスに至る内容まで、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価するテストです。現在、世界約160ヶ国で行われており、企業や学校において様々な用途や目的で活用されています。	

TOEFL	国際教育交換協議会（CIEE） http://www.cieej.or.jp/
英語を母国語としない人達の英語力の運用能力を測る試験です。現在、アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリアなど、世界各国の英語圏の大学に正規留学する際に必要となるスコアです。	

2021年度　資格検定試験　実施予定表

★受験申込日時の詳細については随時、KIFL Info-webに掲示します。
　以下検定試験は学内で申し込みができます。（一部検定試験は学内で実施予定）
※スケジュールは変更になる場合があります。事前に各検定協会に確認をして下さい。

	第 1 回試験	第 2 回試験	第 3 回試験
実用英語技能検定	KIFL Info-web に掲示します。	KIFL Info-web に掲示します。	※当学院での団体申込は行いません。
秘書技能検定試験	6/13	11/14	2/6 ※2 級、3 級のみ実施。
観光英語検定試験	6/28 ※学院では実施しません。申込受付のみ。	10/25 ※学院では実施しません。申込受付のみ。	実施なし
ビジネス能力検定試験 ジョブパス　CBT	数回予定していますが、実施日程等は KIFL Info-web に掲示します。		
学内任意 TOEIC			

公開 TOEIC 受験日　※申込日程等は後日お知らせします。

試験回	試験日
第 266 回（午前）・第 267 回（午後）	2021 年 4 月 25 日（日）
第 268 回（午前）・第 269 回（午後）	2021 年 5 月 23 日（日）
第 270 回（午前）・第 271 回（午後）	2021 年 6 月 20 日（日）
第 272 回（午前）・第 273 回（午後）	2021 年 7 月 11 日（日）
第 274 回（午前）・第 275 回（午後）	2021 年 8 月 22 日（日）
第 276 回（午前）・第 277 回（午後）	2021 年 9 月 12 日（日）
第 278 回（午前）・第 279 回（午後）	2021 年 10 月 3 日（日）
第 280 回（午前）・第 281 回（午後）	2021 年 10 月 24 日（日）
第 282 回（午前）・第 283 回（午後）	2021 年 11 月 28 日（日）
第 284 回（午前）・第 285 回（午後）	2021 年 12 月 19 日（日）
第 286 回（午前）・第 287 回（午後）	2022 年 1 月 30 日（日）
第 288 回（午前）・第 289 回（午後）	2022 年 2 月 27 日（日）
第 290 回（午前）・第 291 回（午後）	2022 年 3 月 20 日（日）
（財）国際ビジネスコミュニケーション協会　http://www.toeic.or.jp	

各種検定・資格認定試験　単位認定一覧

神田外語学院入学後に取得、または合格した検定、資格試験については、申請により選択科目分単位として認定されます（申請時期は２月・９月を予定）。ただし、認定される試験及び単位数については、変更されることがあります。
現在認定している検定試験級・資格試験及び認定単位数は以下のとおりです。

実用英語技能検定試験　※CBT、S-CBTも可			
１級：6単位	準１級：4単位	２級：2単位	準２級：1単位

国際連合公用語英語検定試験（国連英検）					
特A級：8単位	A級：6単位	B級：4単位	C級：3単位	D級：2単位	E級：1単位

工業英語能力検定試験			
２級：5単位	準2級：4単位	3級：2単位	4級：1単位

秘書技能検定試験			
１級：4単位	準１級：3単位	2級：2単位	3級：1単位

ビジネス能力検定試験　ジョブパス ※CBTも可		
1級：4単位	2級：2単位	3級：1単位

コンピュータサービス技能評価試験　ワープロ／表計算		
1級：4単位	2級：2単位	3級：1単位

TOEIC スピーキングテスト		
180以上：6単位	150以上：4単位	120以上：2単位

TOEIC ライティングテスト		
190以上：6単位	160以上：4単位	130以上：2単位

観光英語検定試験		
1級：4単位	2級：2単位	3級：1単位

日商簿記検定　※CBTも可		
1級：6単位	2級：4単位	3級：2単位

旅行業務取扱管理者試験	
総合：6単位	国内：4単位

全国通訳案内士試験
合格：8単位

貿易実務検定試験			
A級：6単位	準A級：5単位	B級：4単位	C級：2単位

サービス接遇検定試験			
1級：4単位	準1級：3単位	2級：2単位	3級：1単位

CBS（国際秘書）検定試験	
ファイナル：6単位	プライマリー：4単位

マイクロソフトオフィススペシャリスト　Word ／ Excel ／ Power Point
合格：2単位

日本語検定試験		
1級：4単位	2級：2単位	3級：1単位

DELF			
B2：6単位	B1：4単位	A2：3単位	A1：2単位

実用フランス語検定試験				
準1級：6単位	2級：4単位	準2級：3単位	3級：2単位	4級：1単位

DELE			
B2：4単位	B1：3単位	A2：2単位	A1：1単位

スペイン語技能検定試験			
3級：4単位	4級：3単位	5級：2単位	6級：1単位

ＨＳＫ（漢語水平考試）			
6級：4単位	5級：3単位	4級：2単位	3級：1単位

中国語検定試験			
準1級：4単位	2級：3単位	3級：2単位	4級：1単位

TOPIK（韓国語能力試験）				
6級：5単位	5級：4単位	4級：3単位	3級：2単位	2級：1単位

「ハングル」能力検定試験				
準1級：5単位	2級：4単位	準2級：3単位	3級：2単位	4級：1単位

インドネシア語技能検定試験			
A級：4単位	B級：3単位	C級：2単位	D級：1単位

実用タイ語検定試験			
2級：4単位	準2級：3単位	3級：2単位	4級：1単位

医療通訳技能検定試験	
1級：4単位	2級：3単位

世界遺産検定　※CBTも可		
1級：3単位	2級：2単位	3級：1単位

9. クラブ・同好会に関する規定

神田外語学院学生課外活動推進委員会規約

第1章 総　則

第１条 本会は、神田外語学院学生課外活動推進委員会（以下「本会」という）と称する。

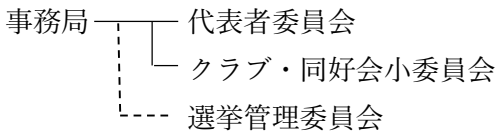
第２条 本会は、神田外語学院（以下「本学院」という）内に本部を置く。

第３条 本会は、本学院の教育精神を旨とし、クラブ、同好会の活動を推進することにより、学院生活の向上および充実を図ることを目標とする。

第４条 本会は、特定の政治、宗教、その他の団体に干渉されず、中立の立場をとる。

第2章 組　織

第５条 本会は、次の機関を置く。



第６条 事務局は、本会組織の最高運営機関であり、本学院全昼間部学生（専科を除く）の中から選ばれた４名の役員によって構成される。

第７条 本会は、本学院院長を顧問とする。

第８条 本会は、次の会議を設ける。

⑴ 事務局会議
⑵ 代表者委員会会議
⑶ クラブ・同好会小委員会会議
⑷ 選挙管理委員会会議

第3章 事 務 局

第９条 事務局役員の構成および定員は次の通りである。

⑴ 会　長　１名
⑵ 副会長　１名
⑶ 書　記　１名
⑷ 会　計　１名

第10条 事務局の任務は、次の通りである。

⑴ 会長は、本会を代表し、一切の業務を統括する。
⑵ 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その任務を代行する。
⑶ 書記は、本会の諸記録、資料保存および備品管理を行う。
⑷ 会計は、本会の会計事務を行う。

第11条
(1) 事務局は、その年度の活動計画について代表者委員会にてこれを発議し、決議の後、学院長（本会顧問）および学生委員会
（クラブ・同好会規定の細則第１条にて規定）の承認を得て実施する。
(2) 役員の新旧交替時には、引き継ぎのための研修を新役員に対して行う。
(3) 事務局は、全てのクラブ・同好会に対して、円滑な活動と推進のための情報を提供する義務を有する。
(4) 事務局は、全てのクラブ・同好会を代表して、学院長（本会顧問）と必要に応じて協議を行う。

第12条 事務局会議は、以下の事項について審議し、学院長（本会顧問）に対して提案できる。
⑴ 規約改正に関わる事項
⑵ 予算、決算に関わる事項
⑶ その他重要事項

第13条 第12条に於ける事務局会議から学院長（本会顧問）への提案事項は、学院長（本会顧問）および学生委員会により再審議され、学院長（本会顧問）および学生委員会の承認を得た後に、成立し、その効力を発するものとする。

第 14 条 事務局役員は、本会内の各役員を兼任することはできない。

第４章 代表者委員会

第15条 代表者委員会は、事務局役員、各クラブの代表者１名、各同好会の代表者１名により構成される。

第16条 代表者委員会会議は、本会の運営、クラブ・同好会の向上のために諸問題を討議する。

第17条 代表者委員会は、発案・審議機関であり、規約に基づき検討事項を審議し、事務局の合意のもと、学院長（本会顧問）および学生委員会による承認の後、諸事項を施行する。

第18条 代表者委員会会議は、委員の３分の２の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数の賛成をもって決議する。

第19条 代表者委員会会議は、事務局会議からの発議があった場合、会長がこれを招集する。

第５章 クラブ・同好会小委員会

第20条 クラブ・同好会小委員会は、各クラブ・同好会の代表者１名により構成される。

第21条 クラブ・同好会小委員会は各クラブ・同好会の活動を円滑にするために事務局と連絡をとり、併せてクラブ・同好会間の活動上の諸問題の調整を行う。

第22条

(1) クラブ・同好会小委員会は、各クラブ・同好会の予算配分の立案、各クラブ・同好会の昇降格ならびに廃止に関する提案を事務局に対して行うことができる。

(2) 各クラブ・同好会の昇降格ならびに設立・廃止にあたっては、学生委員会・代表者委員会によって構成されるクラブ・同好会昇降格審査委員会にて協議し、学院長（本会顧問）の承認を得た後、決定する。

第６章 選挙管理委員会

第23条 選挙管理委員会は、代表者委員会から選出された選挙管理委員会により構成される。

第24条 選挙管理委員は、本会事務局役員の選挙に関するすべての運営を委任され、別に定める細則に基づき活動する。

第７章 委員および役員の選出

第25条 事務局役員は、毎年10月に立候補した昼間部学生（専科を除く）の中から全昼間部学生の選挙により選出される。この選挙は、本規約第23条および24条に基づいて実施される。

第26条 事務局役員の任期は、毎年11月１日から翌年10月31日までの１年とする。尚、任務期間中に何らかの事情で辞任した場合に行われる欠員の補充によって選ばれた後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

第27条 代表者委員会委員長は、代表者委員会に於いて委員の互選によって選出される。

第28条 クラブ・同好会小委員会委員は、毎年４月に各クラブおよび同好会から選出する。任期は１年とし、再任は妨げない。

第29条 クラブ・同好会小委員会委員は、クラブ・同好会小委員会に於いて委員の互選によって選出される。

第30条 選挙管理委員会委員は、毎年９月に代表者委員会委員より選出される。任期は3カ月とする。

第31条 選挙管理委員会委員長は、選挙管理委員会に於いて委員の互選により選出される。

附　則

(1) 本規約は、平成12年８月１日から、その効力を発揮する。
(2) 本規約の改正および補足内容は、学院長（本会顧問）および学生委員会によって承認された日から、その効力を発揮する。

神田外語学院クラブ・同好会に関する規定

平成２年３月１日制定
平成２年４月１日施行

第１条（定義）
クラブ・同好会とは、本学院の教育目的にそった機能を具備するものであって、学生の自主的な交流を通し、人間形成をはかるため、文化、体育、および学問研究等の活動を行なう団体として本学院が認可したものをいう。

第２条（付与資格）
クラブ・同好会は、別途定める規則に従い、活動に必要な学院施設の使用・学内掲示等が認められ、クラブは課外活動援助金を給付されることがある。

第３条（同好会の設立）
(1) 学生が同好会を設立しようとするときは、次の書類を学生課外活推進委員会（本会という）事務局に提出し、クラブ・同好会昇降格審査委員会の審査、推薦を受け、顧問（学院長）の承認を得なければならない。
(2) 同好会の設立には、次の書類を提出しなければならない。
１．設立願
２．活動計画書
３．団体内規
４．会員名簿（会員氏名〈会長、副会長、会計各１名を明記のこと〉、学年、クラス、番号、連絡先、電話番号）

第４条（クラブ昇格、降格）
１（同好会のクラブへの昇格、降格）
① クラブへの昇格には、クラブ・同好会昇降格審査委員会の審査、推薦を受け、学院長の承認を得なければならない。
② １年以上にわたる十分な活動実績があり、かつ実質会員が10名以上になった同好会の代表者は、年度末にクラブ昇格願を本会事務局に提出できる。
③ クラブへの昇格は、クラブ・同好会昇降格審査委員会の審査を受け、学院長の承認の後、認められるものとする。
２（クラブから同好会への降格、および解散）

クラブの活動が著しく不活発になった場合、学院の名誉を汚す行為があった場合、クラブ・同好会昇降格審査委員会の審査の後、学院長は、降格、解散を命じることがある。

第５条（継続活動）

クラブ・同好会が継続活動を希望するときは、その年度の５月末日までに、所定の書式に必要事項を記入し、学生部に届け出なければならない。

第６条（付帯活動の届出）

クラブ・同好会が学内もしくは学外に於いて署名運動、資金募集、投票、掲示、ビラ配布等の行為をしようとするときには、その旨、学生部長に届け出てその指示を受けなければならない。

第７条（学外集会）

クラブ・同好会が学外に於いて集会および宿泊を伴う活動をする場合は、原則として一週間前までに学院長に届け出て、その許可を受けなければならない。

第８条（懲罰）

クラブ・同好会が次の事項のいずれかに該当する場合は、学院長は公認取消、便宜供与の停止、その他適当な措置を命ずることができる。

⑴ 第１条の趣旨にもとる場合
⑵ 不祥事件が起こった場合
⑶ 学生部の指示に違反した場合
⑷ 学内の諸規程に違反した場合

第９条（予算、決算）

クラブ・同好会は毎会計年度終了後４月末日までに決算書（証憑類添付）および新年度の予算書を作成し、本会事務局まで提出しなければならない。

付　則　　本規定の細則については別に定める。

神田外語学院クラブ・同好会規程の細則

平成２年３月１日制定
平成２年４月１日施行

第１条（学生委員会）

学生委員会の構成は次の通りとする。

⑴ 事務局長

⑵ 学生部長

⑶ クラブ顧問代表

第２条（同好会の設立）

同好会の設立願の受付は毎年５月とする。

第３条（クラブ・同好会の報告事項）

クラブ・同好会は次の書類を５月末日までに提出し、報告しなければならない。

⑴ 活動実績報告（前年度の活動日誌、会計簿等）

⑵ 新年度の活動計画書

⑶ 新年度の会員名簿〈会員氏名〔会長、副会長、会計各１名明記〕、学年、クラス、番号、連絡先、電話番号〉

第４条（クラブ・同好会の継続）

クラブ・同好会は、前条の書類を提出し、学院長の承認を受けた場合、次年度の活動を継続することができる。

第５条（学外集会、合宿、遠征）

学外集会、合宿、遠征届には、目的、日程、連絡先、参加者名簿、及び責任者を明記しなければならない。

第６条（クラブ・同好会の役員）

(1) クラブ又は同好会の役員であるものは、他のクラブや同好会の役員を兼ねることができない。

(2) クラブ・同好会の役員は、クラブ・同好会規程及びその細則を遵守し、健全な活動を行う旨の誓約書を学院長に提出しなければならない。

第７条（部室・教室の使用）

(1) クラブ・同好会が学校施設（教室）の使用を希望する場合は、教室使用申込書を学生部長に提出し、承認を受けなければならない。

(2) 学校施設の使用に際しては、施設及び設備、器具等を汚損、破損、若しくは紛失のないよう十分注意しなくてはならない。所属備品を破損した場合は、その使用団体の責任に於いて弁償しなくてはならない。

(3) 教室の使用時間は次のように定める。

月曜日～金曜日　17：30～20：00

(4) クラブの責任者は、年度はじめに当該年度の施設（教室等）使用申込書を学生部長に提出し、その承認を受けなければならない。

第８条（解散）

クラブ・同好会が解散するときは、解散届をクラブ・同好会昇降格審査委員会まで提出しなければならない。

第９条（クラブ・同好会の顧問）

各クラブ・同好会は顧問を置き、指導、助言を求めることができる。

第10条

顧問は本学院の教職員とし、顧問の就任できる団体は１教職員２団体までとする。また、顧問の任期は２年とし、継続を妨げない。

神田外語学院　学則（抜粋）

第１章　総　　則

第１条　本学院は国際言語である英語を主体とし、第二言語としてフランス語、独語、スペイン語、中国語、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語を習得し、又それぞれの専門分野であるガイド、貿易実務、通訳、ホテル業務、秘書等の学問及び技術をも合わせて習得し、広く海外文化の知識を与え、国際社会人としての教養を育成し、国内は勿論のこと、海外に於いても充分に活躍し得る有能な人材を育成し、社会に貢献せんとすることを目的とする。

第２条　本学院は専門学校　神田外語学院という。

第３条　本学院の位置を東京都千代田区内神田２丁目13番13号とする。

（自己点検・評価）

第４条　本学院は、その教育の一層の充実を図り、本学院の目的及び社会的使命を達成するため、本学院における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

２　前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第２章 課程・学科・学生定員及び修業年限

（学科、学生定員及び修業年限）

第５条　本学院に外国語専門課程を置く。

２　前項の専門課程に置く学科、修業年限及び入学定員を次のように定める。

昼間部	修業年限	入学定員	総定員数	学級数
グローバルコミュニケーション科	2	80	160	4
英語専攻科	2	560	1120	28
留学科	2	140	280	8
アジア／ヨーロッパ言語科	2	200	400	10
児童英語教育科	2	60	120	4
国際ビジネスキャリア科	2	120	240	6
国際観光科	2	60	120	4
国際ホテル科	2	60	120	4
国際エアライン科	2	140	280	8
英語基礎養成科	1	40	40	1

英語コミュニケーション専科	1	40	40	1
児童英語教育専科	1	10	10	1
国際エアライン専科	1	10	10	1
合計		1520	2940	80

（在学年限）

第６条　昼間部グローバルコミュニケーション科、英語専攻科、留学科、アジア／ヨーロッパ言語科、児童英語教育科、国際ビジネスキャリア科、国際観光科、国際ホテル科、国際エアライン科の学生は３年を越えて在学することはできない。なお、２年次編入学の学生については２年を越えて在学することはできない。昼間部英語基礎養成科、英語コミュニケーション専科、児童英語教育専科、国際エアライン専科については２年を越えて在学することはできない。ただしいずれの学科においても休学期間を含む。

第３章　学年、学期及び休業日

（学年）

第７条　本学院の学年は４月１日に始まり翌年３月31日に終わる。

（学期）

第８条　昼間部グローバルコミュニケーション科、英語専攻科、アジア／ヨーロッパ言語科、児童英語教育科、国際ビジネスキャリア科、国際観光科、国際ホテル科、国際エアライン科、英語基礎養成科、英語コミュニケーション専科、児童英語教育専科、国際エアライン専科においては次のとおりとする。

１学期　４月１日～８月31日

２学期　９月１日～12月31日

３学期　翌年１月１日～３月31日

昼間部留学科においては次のとおりとする。

１学期　４月１日～８月 31 日

２学期　９月１日～12月31日

３学期　翌年１月１日～３月 31 日

（休業日）

第９条　休業日は次のように定める

⑴　日曜日

⑵　国民の祝日に関する法律に規定する休日

⑶　創立記念日

⑷　春期休業日
⑸　夏期休業日
⑹　冬期休業日
2　前項の規定にかかわらず、学院長が必要と認めたときは臨時に休業日の認定変更、又は休業日に授業を行うことができる。

（授業時間数）

第10条　一年間にわたり800時間以上とする。
2　昼間部修業年限２年の課程については、総授業時間を1700時間以上とする。

第11条　始業及び終業の時刻は次のとおりとする。
昼間部グローバルコミュニケーション科、英語専攻科、留学科、アジア／ヨーロッパ言語科、児童英語教育科、国際ビジネスキャリア科、国際観光科、国際ホテル科、国際エアライン科、英語基礎養成科、英語コミュニケーション専科、児童英語教育専科、国際エアライン専科、
午前９：20より、午後５：00までとする。

第４章　入学、休学、退学

（入学の時期）

第12条　本学院の入学は毎学年の初めとする。

（入学資格）

第13条　本学院に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。
⑴ 高等学校を卒業した者
⑵ 通常の課程による12年の学校教育を終了した者
⑶ 外国において学校教育における12年の課程を終了した者
⑷ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者
⑸ 大学入学資格検定に合格した者
⑹ 本学院にて上記⑴～⑸と同等以上の学力があると認められた者
⑺ 前項の規定にかかわらず、昼間部英語コミュニケーション専科・児童英語教育専科・国際エアライン専科については、専門学校・短期大学・大学を卒業した者、高等学校を卒業し１年以上経過した者、高等学校卒業程度認定試験に合格した者で満19歳以上の者

（入学志願手続）

第14条　本学院に入学を志願する者は本学院所定の書類と別表２の２で定めた選考料又は検定料を添えて提出しなければならない。
2　入学志願手続の時期、方法及び書類については別に定める。

（入学者の選考）
第15条　前条の入学志願者については別に定めるところにより選考を行う。
（入学手続）
第16条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は保証人を定め、所定の期日までに本学院所定の書類を提出するとともに所定の学費を納付しなければならない。
2　保証人は本人の在学中の一切の事項について責任を負うものとし、本人の父兄又はそれに代わるべき人でなければならない。
3　保証人が死亡又は前項の要件を欠いたときはただちに保証人の変更の届出をしなければならない。
（入学許可）
第17条　学院長は前条の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
（編入学）
第18条　本学院の２年制課程に編入学を希望する者が、所定の手続きにより志願したときは、教育に支障のない場合に限り、特別の選考を行い、学内に設ける評価委員会の判定により学院長がこれを許可する。ただし編入学することのできる者は、第31条の規定により、１年次分の単位を全て履修認定される者とする。
2　前項の規定により入学を許可された者は、原則的に２年次からの編入とする。
3　編入学に必要な事項、及び評価委員会については別に定める。
（転科）
第19条　転科を希望する者がある場合には、教育に支障のない場合に限り、学院長は、学年末における評価委員会の選考をへて、第２学年に限り転科を許可することがある。
2　前項に関し必要な事項は、別に定める。
（進級）
第20条　修業年限２年のコースにおいて進級に必要な１年次の単位を取得できない者は２年次への進級を認めない。
（留年）
第21条　修業年限以内に卒業に必要な単位を取得できない者の内、在学年限以内に卒業に必要な単位を取得可能と認められる学生に対しては、学院は留年を許可することがある。
（休学）
第22条　病気その他、本学院が認める止むを得ない事情のため引き続き３ケ月以上修学することが困難な者は、その事由を証明する書類を揃えて保証人連署の上学院長の許可を得て休学することができる。
2　前項による休学が１学年度の全期間にわたる場合は前年度２月までに必要事項を

届け出ること。

3 病気のため修学することが適当でないと認められるものについて学院長は休学を命ずることができる。

（休学期間及び復学）

第23条 休学期間は１年を越えることはできない。

2 休学者は休学期間中にその理由が消滅した場合、学院長の許可を得て復学することができる。

3 復学に必要な事項は別に定める。

（退学）

第24条 退学しようとするものは学院長に退学を願い出て許可を受けなければならない。

2 退学に必要な事項は別に定める。

（除籍）

第25条 次の各号の一に該当するものはこれを除籍する。

⑴ 入学、進級に関し所定の登録をせず、また退学の手続きをしない者。

⑵ 学則に反し、学内の秩序を乱して学生の本分にもとるとみなされる者。

⑶ 学業を怠り、成業の見込みがないとみなされる者。

⑷ 第６条に定める在学年限を越えた者。

⑸ 第23条に定める休学の期間を越えてなお復学しない者。

⑹ 学費を所定の期日までに納付しない者。

第５章 教育課程及び履修方法等

第26条 コース、学科の授業科目は別に定める。

（授業科目及び時間数）

第27条 本学院で開設する授業科目及び時間数は別表１のように定める。

（履修の方法）

第28条 授業科目の履修方法等については本学院の履修要項による。

（成績の評価）

第29条 成績の評価は試験等によりA、B、C、D、F の５種に分け、A、B、C、D の成績を以て合格とする。なお、詳細については別に定める。

（卒業要件）

第30条 学生は在学年限内において、別に定める授業科目及び所定の単位を取得しなければならない。

（単位認定制度）

第 31 条　次の各号の一に該当し、本学院の専門課程各科に設置される共通必修科目及び学科別指定・選択科目の内容に準拠し、教育上有益と認められる内容からなる科目の学修については、当該科目の合計が総授業時数の二分の一を超えない範囲で、卒業の要件となる単位として認定することができる。

⑴ 大学・短期大学における学修。

⑵ 大学・短期大学・高等専門学校における科目等履修生、研究生、聴講生としての学修。

⑶ 大学での公開講座、公民館その他の社会教育施設での講座、及びこれらに類する学修。

⑷ 社会教育法の規定により文部科学大臣の認定を受けた通信教育における学修。

⑸ 文部科学大臣認定等の技能審査の合格に係る学修で本学院専門課程教育に相当すると認められるもの。なお、対象となる技能審査は別に定める。

⑹ 就業体験、及びこれに類する活動。スポーツ又は文化活動で顕著な成果をあげたもの。

⑺ 本学院の専門課程に相当する教育を行っていると認めた外国の教育施設に留学しての学修。なお、詳細については別に定める。

⑻ 他の専門学校における科目等履修生としての学修。

⑼ 入学前に行った専修学校専門課程における授業科目。なお、これには科目等履修生としての学修も含む。

2　前項の⑴から⑻については、本学院入学前に行ったものについても対象とする場合がある。入学前に行ったものについて単位の認定を希望する者は、入学願書出願時に本学院に申し出る。

3　単位の認定は、学内に設ける評価委員会の判定により、学院長が許可する。なお、評価委員会については別に定める。

（称号の授与）

第32条　昼間部グローバルコミュニケーション科、英語専攻科、留学科、アジア／ヨーロッパ言語科、児童英語教育科、国際ビジネスキャリア科、国際観光科、国際ホテル科、国際エアライン科を修了した者には専門士（外国語専門課程）の称号を授与する。

（科目等履修生）

第33条　本学院において開設する授業科目に対し、本学院学生以外の者から特定の科目について履修申請があった場合には、本学院の教育に支障がない限り、選考の上、科目等履修生として当該科目の履修を許可することができる。

2　その他科目等履修生に関する事項は別に定める。

第６章　学　　費

（学費）

第34条

２ 転科の者の学費は、転科先の学科のものとする。

３ 編入学の者の学費は、編入学の学科のものとする。

４ 学費は毎年度の初めまでにこれを決定する。

（学費の納入）

第35条　学費は所定の日までに納入しなければならない。

２ 第22条第２項により、休学する者については授業料の半額を免除する。
（施設維持費は非免除）

３ 留年、復学者の学費はその学生の入学した年度の学費を基準とする。

４ 一旦納入した学費等については原則として返却しないものとする。

５ 学費の分割納入の方法については別に定める。

第８章　賞　　罰

（表彰）

第37条　品行方正、学業優秀な者、また学生として模範的行為があった者については、これを表彰することがある。

（懲戒）

第38条　本学院の教育の趣旨にそむき、学生の本分に反する行為があった学生に対して、懲戒することができる。

２ 懲戒は、譴責、停学及び除籍とする。

３ 懲戒につき、必要な事項は別に定める。

附　則

１ 本学則は平成27年４月１日より施行する。